

酒呑場遺跡 (第3次)

SAKENOMIBA SITE

—酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書—
(遺構編—後編)

1998. 3

山梨県教育委員会
山梨県農政部

酒呑場遺跡 (第3次)

SAKENOMIBA SITE

—酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書—
(遺構編—後編)

1998. 3

山梨県教育委員会
山梨県農政部

序

本書は北巨摩郡長坂町に所在する酪農試験場の増築、改築に伴い1997年度に実施した発掘調査の報告書であります。縄文時代の環状集落の発掘のため出土遺構や遺物が膨大なため、今回は遺構のみを取り上げ報告することになりました。

酪農試験場の増築、改築に伴う発掘調査はすでに第1次調査を1995年度、1996年度に第2次調査を実施しました。本年度の調査は第3次調査になり、本事業での最終調査となりました。第1・2次調査の遺構編の報告書は本センター調査報告書第135集として刊行しました。また、第3次調査の遺構編は前編と後編に分けて刊行することとし、前編は本センター調査報告書第136集として平成8年度に刊行し、本書はその後編であります。

第1次調査では1500㎡、第2次調査では5600㎡を調査し、今回の第3次調査では3000㎡を調査しましたので、合計10100㎡の大規模調査となりました。酪農試験場が立地する小丘は全体が縄文時代の集落であり、縄文時代前期から中期にわたり集落が若干地点を変えながら営まれている状況が把握されました。したがって、約1万㎡の調査地域全体に密に遺構や遺物が出土する状況でありました。第1次調査では縄文前期から後期にかけての住居跡が37軒、土坑などが650基、第2次調査では縄文前期から中期の住居跡117軒、土坑など3500基、古墳時代前期の住居跡15軒、掘立柱建物址4棟、近世の溝1条が調査されました。第3次調査では縄文前期から中期の住居跡59軒、土坑など1700基、古墳時代前期の掘立柱建物址1棟、中・近世の溝1条を調査しました。合計では、縄文時代の住居跡213軒、土坑など5850基、古墳時代前期の住居跡15軒、掘立柱建物址5棟、中・近世の溝2条となります。これほど大規模な縄文時代を中心とする集落の調査は、本県では釈迦堂遺跡群に継ぐ規模の調査となりました。

今回調査した地域は縄文中期前葉から中葉の環状集落の中央部分の約1/4程度にあたり、復元すると直径200mほどの規模になります。第2次調査で3200㎡を調査しましたので、全体の2割程度を調査したことになります。本調査区に関連する縄文中期集落は、農場などで保存されている部分を含めておそらく800軒規模の拠点集落であったと思われます。環状集落の一部の調査ではありますが、今回の発掘の成果が縄文時代の研究の進展とその保存のための一助となれば幸甚です。

最後に発掘調査から報告書の刊行までの過程で、ご助力いただいた関係機関各位、ならびに発掘調査や整理作業に参加いただいた方々に衷心より御礼申し上げます。

1998年3月

山梨県埋蔵文化財センター
所 長 大塚 初重

例 言

- 1 本書は、山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条621-2に所在する酪農試験場内の酒呑場（さけのみば）遺跡の発掘調査報告書である。1994年の第1次調査、1995年の第2次調査に引き続き行なった1996年の第3次調査の発掘調査報告書で、発掘成果の内、今回は遺構の記載と図面のみを報告する。
- 2 本書は第3次調査の内、グリッドでk'列の23～26とL'列からN'列を後編として掲載し、残りの部分のB・A列とA'列からJ'列およびK'列の内27～33グリッド部分は前編に掲載した。
- 3 本調査は農政部の依頼を受けて山梨県教育委員会が実施した、酪農試験場の増・改築工事に伴う発掘調査である。
- 4 発掘調査および整理作業、報告書刊行は、山梨県埋蔵文化財センターが行なった。
- 5 本書の執筆は、村松佳幸と五味孝広（調査員）が共同で行い、編集は保坂康夫が行なった。
- 6 本書にかかわる出土品および図面、写真は、山梨県埋蔵文化財センターが保管している。
- 7 発掘調査から報告書刊行までに、次の方々からご指導、ご助力いただいた。記して衷心より御礼申し上げる次第である。

杉本充、小宮山隆、伊藤公明、坂上寛一、Ilona Baush、杉本陽、宮尾亨、
尾谷卓一、萩原三雄、河西学、鈴木稔、谷口康浩、櫛原功一

目 次

例 言

目 次

挿図目次

第 I 章 縄文時代の遺構

第 1 節 住居跡 ----- 1

第 2 節 土坑 ----- 21

第 3 節 炉址 ----- 39

挿図目次

第1図	40・41号住居跡	7
第2図	42号住居跡(1)	8
第3図	42号住居跡(2)	9
第4図	43号住居跡	10
第5図	44号住居跡	11
第6図	45号住居跡	12
第7図	46号住居跡	13
第8図	47号住居跡	14
第9図	48号住居跡	15
第10図	49号住居跡(1)	16
第11図	49号住居跡(2)	17
第12図	50号住居跡	18
第13図	58号住居跡	19
第14図	59号住居跡	20
第15図	土坑分布区割り図および炉址分布図	24
第16図	土坑(1/60)(1/30)(K'24・25区内)	25
第17図	土坑(1/60)(L'24区内)	26
第18図	土坑(1/60)(L'25・26区内)	27
第19図	土坑(1/30)(L'26・28区内)	28
第20図	土坑(1/60)(L'27・28区内)	29
第21図	土坑(1/60)(L'29・30区内)	30
第22図	土坑(1/60)(L'31・32区内)	31
第23図	土坑(1/30)(L'31・32、M'34区内)	32
第24図	土坑(1/60)(L'33区内)	33
第25図	土坑(1/60)(M'25・26区内)	34
第26図	土坑(1/60)(M'27・28区内)	35
第27図	土坑(1/60)(M'29・30区内)	36
第28図	土坑(1/60)(M'31・32区内)	37
第29図	土坑(1/60)(M'33・34区内)	38

第 I 章 縄文時代の遺構

第 1 節 住居跡

40号住居跡

(位置) M' -33・34グリッドに位置している。

(形態・規模) 西半分は、調査区外にある。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.60m、短径1.50mを測る。

(壁・周溝) 壁はゆるやかに傾斜して立ち上がり、深さが北6cm、東8cm、南0cmを測る。周溝は、南東側の一部に確認された。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は不明。P-1とP-2がともに深さ71cm、P-3が33cmで、他は20cmより浅いピット。

(炉) 西半分は、調査区外にあるため、炉址の確認はできなかった。

(時期) 藤内式期

(覆土) 明暗褐色土を基調とし、ローム粒、カーボン粒を全体に含む。

41号住居跡

(位置) M' -26、N' -26グリッドに位置している。

(形態・規模) 本址は、全体の1/3程度しか調査できず、南、西側のほとんどが、調査区外にある。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存5.20m、短径残存1.60mを測る。

(壁・周溝) 壁は傾斜して立ち上がり、深さが北31cm、東23cmを測る。調査した範囲には、周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は、P-1(深さ44cm)と、P-2(深さ49cm)、P-3(深さ43cm)、P-4(深さ49cm)のいずれかとの組み合わせと思われる。30cm台の深さはP-5～7で、他は20cm台以下。

(時期) 井戸尻式期。

(炉) 炉址も、調査区外にあると思われ、確認できなかった。

(出土遺物) 床直出土で、土器底部を再利用したと思われる土盤と、ミニチュア土器がセットで出土。

42号住居跡

(位置) K' -31・32、L' -32グリッドに位置している。

(重複・改築) 北、東、南壁は土坑群により切られている。

(形態・規模) 形態はほぼ円形を呈する。規模は長径残存6.10m、短径5.60mを測る。

(壁・周溝) 壁は、深さが北13cm、東2cm、南10cm、西14cmを測る。周溝は二重になっており、北壁では、二重になっていないので、北壁はそのまま南西方向に拡張したと思われる。また、外側の周溝は南東側が途切れ、東壁から北壁の一部にかけて土坑群により切られている。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は6本で拡張前後の2グループがある。P-1(深さ65cm)、P-2(深さ79cm)、P-3(深さ68cm)、P-4(深さ60cm)、P-5(深さ60cm)、P-6(深さ71cm)のグループと、P-1、P-7(深

さ69cm)、P-8(深さ44cm)、P-9(深さ42cm)、P-10(深さ52cm)、P-11(深さ54cm)のグループとである。他に30cm台の深さのピットがP-12~15で、他は20cm台以下。

(炉) 炉が2カ所ある。一方は石囲埋甕炉で、長さ50cm程度、幅20cm程度、厚さ15cm程度の平石を3方に配し、西辺には長さ30cmで15cm角の角柱状の礫2個を直列させ、全体で口の字形に配置している。その四隅には大小の礫を1個ずつ置いて、中央には井戸尻Ⅲ式期の小型土器の口縁部側を埋設している。径149×115cm、深さ25cmを測る。もう一方は前者より東側に1mほど離れてある。120×90cmの範囲で焼土が分布し深さ20cmほどのピットに切られ、まが玉状の平面形となっている。

(時期) 井戸尻式期。

(出土遺物) K'-32-3グリッドで42号住居跡南壁よりの覆土中に小礫が集積する箇所があった。K'-32-4グリッド覆土中で土偶が出土。頭部、左腕を残し、胴部より下が欠損し、うつぶせの状態出土。

43号住居跡

(位置) L'-30・31、M'-30・31グリッドに位置している。44・48号住居跡と重複し切っており、西側は、調査区外へのびる。

(重複・改築) 本址は、同心円状に周溝をもっており、拡張の可能性がある。

(形態・規模) 形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径5.93m、短径5.70mを測る。

(壁・周溝) 壁の立ち上がりは南壁部で急傾斜、深さが北3cm、東22cm、南26cmを測る。内側周溝の内側床面はフラットだが、外側周溝との間は約10cm程度床面が上がる。

(床面) 地山ローム床で、全体に硬化する。

(柱穴) 8本と6本の2つの主柱穴群が推定できる。8本のグループは、P-1(深さ60cm)、P-2(深さ61cm)、P-3(深さ64cm)、P-4(深さ73cm)、P-5(深さ50cm)、P-6(深さ61cm)、あるいはP-13(深さ54cm)、P-7(深さ62cm)、P-8(深さ52cm)である。6本のグループは、P-2~4とP-9(深さ42cm)、P-10(深さ41cm)、P-11(深さ43cm)である。他にP-12(深さ66cm)、P-14(深さ50cm)、P-15(深さ45cm)とP-16~18(44号住居跡の主穴)が深いピットで、他は20cm台以下。

(炉) 長さ30cm~10cmの角柱状、板状、塊状の礫10個をほぼ円形に配置した石囲埋甕炉で、径85×85cm、深さ28cmを測る。中央に井戸尻式期前半の深鉢の胴部上半を口縁を上にして埋設していた。

(時期) 井戸尻式期。

(出土遺物) 覆土中層から下層にかけて復元可能な井戸尻式土器を中心に多量に出土。床直でミニチュア土器2点が出土。

44号住居跡

(位置) L'-30・31、M'-31・32グリッドに位置している。43号住居跡に切られている。

(重複・改築) 南西側は、43号住居跡に切られている。

(形態・規模) 形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径6.30m、短径残存3.50mを測る。床には、北東側、北西側で4cm程度上がるベット状テラス部がある。

(壁・周溝) 壁はゆるやかに傾斜して立ち上がり、深さが北8cm、東9cm、南6cm、西12cmを測る。周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は不明。しかし、深い柱穴が4つの群を成し4本柱の構造であった可能性がある。P-1(深さ71cm)、P-2(深さ63cm)、P-3(深さ69cm)の群、P-4(深さ60cm)、P-5(深さ62cm)、P-6

(深さ58cm)の群、P-7(深さ62cm)、P-8(深さ61cm)、P-9(深さ52cm)、P-10(深さ52cm)の群、44号住居跡P-16(深さ78cm)、44号住居跡P-17(深さ58cm)、44号住居跡P-18(深さ44cm)の群の4群である。他に深さ40cm台がP-11~14、30cm台がP-15~20である。

(炉) 埋甕炉で、径146×103cm、深さ22cmを測る。焼土面が埋甕をドーナツ状に取り囲み、埋甕は一旦形成された焼土面を掘り込んで埋設されているように見える。また焼土範囲の外側に、小ピットが廻っている。

(時期) 貉沢式期。

(出土遺物) 床より10cm程上に、小礫の集積があった。

45号住居跡

(位置) L'-29、M'-29グリッドに位置している。

(重複・改築) 北側で47号住居跡を切り、東側では46号住居跡を切っている。

(形態・規模) 形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径4.50m、短径残存2.70mを測る。

(壁・周溝) 壁の立ち上がりは傾斜で、深さが東23cm、南22cm、西9cmを測る。周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は4本でP-1(深さ65cm)、P-2(深さ59cm)、P-3(深さ58cm)、P-4(深さ59cm)である。他に40cm台の深さがP-5・6、30cm台がP-7~10で、他は20cm台以下。

(炉) 埋甕炉で、径67×64cm、深さ20cmを測り、新旧2個の埋甕が10cmのレベル差を持って切り合っている。

(時期) 貉沢式期。

46号住居跡 a・b

(位置) L'-29・30、K'-29・30グリッドに位置している。

(重複・改築) 47号住居跡を切り、45号住居跡と49号住居跡に切られている。a、b2基の炉址があり2軒の重複と思われる。

(形態・規模) 炉址aの住居の形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存1.40m、推定5.50m以上、短径残存3.65m、推定4.70cm以上を測る。炉址bの住居の形態は円形に近い楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4.80m、短径4.70mを測る。

(壁・周溝) 壁の立ち上がりは弱傾斜で、深さがaが南壁で10cmを測る。周溝は存在しない。bが北壁で9cmを測り、周溝はない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) aは主柱穴が4本と思われる。P-1(深さ37cm)、P-2(深さ38cm)、P-3(深さ60cm)、P-4(深さ32cm)である。bは主柱穴は4本と思われ、P-5(深さ57cm)、P-6(深さ52cm)、P-7(深さ51cm)、P-8(深さ48cm)である。他のピットは、深さ68cmのP-10、58cmのP-11、40cm台のP-12~15、30cm台のP-16~19があり、他は20cm台以下の浅いピット。

(炉) 埋甕炉aは、径59×47cm、深さ16cmを測り、埋甕の周囲に焼土がある。埋甕炉bは、埋甕が2ヶあり、径118×84cm、深さ18cmを測り、埋甕の周囲に焼土がある。

(時期) a、bともに五領ヶ台式期。

47号住居跡

(位置) L'-29・30、M'-29・30グリッドに位置している。

(重複・改築) 45・46号住居跡に切られ、48号住居跡を切っている。また北東壁は、L' -30ホ土坑に切られている。

(形態・規模) 形態は不整楕円形を呈する。規模は長径4.15m、短径3.60mを測る。北壁は歪曲する。

(壁・周溝) 壁は西壁で急傾斜に立ち上がり、深さが北2cm、東9cm、南3cm、西26cmを測る。周溝は存在しない。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 壁際に小ピットが廻る。主柱穴は4本でP-1(深さ62cm)、P-2(深さ54cm)、P-3(深さ59cm)、P-4(深さ47cm)である。他にP-5(深さ49cm)、P-6(深さ37cm)、P-7(深さ32cm)の深いピットがあり、他は20cm台以下。

(炉) 埋甕炉で、径51×45cm、深さ15cmを測り、焼土層を切って埋甕を埋設している。

(時期) 五領ヶ台式期。

48号住居跡

(位置) L' -30、M' -30グリッドに位置している。

(重複・改築) 43・47号住居跡に切られている。

(形態・規模) 遺存度はきわめて悪い。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存3.90m、短径残存2.10mを測る。

(壁・周溝) 壁はなだらかに立ち上がり、深さが東側で7cmを測る。周溝は確認できなかった。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴も確認できなかった。P-1(深さ41cm)、P-2(深さ35cm)の他は20cm台以下の浅いピットで、43・47号住居跡内にも対応するピットが見当たらない。

(炉) 埋甕炉で、径125×84cm、深さ22cmを測る。

(時期) 五領ヶ台式期。

49号住居跡

(位置) K' -27・28・29、L' -28・29グリッドに位置している。

(形態・規模) 形態は楕円形を呈する。規模は長径残存7.75m、短径残存6.80mを測る。南壁は土坑に切られ確認できなかった。西壁の一部から南西壁にかけて、拡張後の外側の周溝と壁の間にテラス状箇所がある。

(壁・周溝) 壁は西壁で急傾斜に立ち上がり、深さが北12cm、東19cm、西22cmを測る。周溝は、途切れながらも、同心円状に二重に廻っており、拡張したものと思われる。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 主柱穴は6本で、P-1(深さ70cm)、P-2(深さ90cm)、P-3(深さ92cm)、P-4(深さ73cm)、P-5(深さ81cm)、P-6(深さ69cm)である。これに加えて、P-7(深さ68cm)とP-8(深さ50cm)、P-9(深さ38cm)とP-10(深さ40cm)とP-12(深さ50cm)とP-11(深さ71cm)が入口部の構造を構成しているものと思われる。この他のピットはP-13(深さ88cm)、60cm台のP-14・15、50cm台のP-16~18、40cm台のP-19~22、30cm台のP-23~28が深く、他は20cm台以下。

(炉) 炉址は、住居跡中心より北に位置する。石囲炉で、径106×84cm、深さ24cmを測る。石囲の周りに240×148cmの不定形に焼土が遺存し、厚さ4cmを測る。炉石は全周しない。

(時期) 藤内式期。

(出土遺物) 床面より10cm程浮いて、頭部、及び脚部を欠損した土偶が仰向けで出土。住居址中央覆土中層より

下層にわたり、土器片、略完形土器など多数出土。

(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調とし、住居址中央部の中層より下層にわたり、暗黒褐色土となり、遺物を多く含む。また覆土全体に焼土粒子、炭化粒子を含む。

50号住居跡

(位置) K' -26・27、L' -26・27グリッドに位置している。

(形態・規模) 本址の遺存状況はあまりよくない。形態は楕円形を呈する。規模は長径4.90m、短径4.50mを測る。

(壁・周溝) 壁は深さが北0cm、東1cm、南10cm、西9cmを測る。周溝は、北西壁際と東壁から南壁際に途切れながら存在するため、北壁は確認できなかった。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 支柱穴は5本と思われる。P-1 (深さ42cm)、P-2 (深さ39cm)、P-3 (深さ48cm)、P-4 (深さ66cm)、P-5 (深さ68cm) である。P-6 (深さ60cm)、40cm台の深さのピットがP-7~9、30cm台がP-10・11で、他は20cm台以下の浅いピット。P-11は、検出面中央に大形礫があり本址とは関係ない土坑かもしれない。

(炉) 石囲炉で、径78×73cm、深さ17cmを測る。長さ20~15cm、幅20cm程度、厚さ10cm程度の板状の礫6個を五辺に立てて五角形状に配置し、五角形の頂点に当たる部分には厚さ3cm程度の薄い板状礫を斜めに寝かせて設置している。この礫の両側に土器片と打斧らしい石片を配置、さらに、南東隅部には薄い板状礫を含む小礫3個を立てている。

(時期) 藤内式期。

(出土遺物) 住居址内北西方向に小礫の集積がある。また、その下より土偶(顔面のみ)が出土。床直において、横位で復元可能な土器あり。P-4覆土中層には、口縁を欠いた底部のある深鉢が正位で出土。床直で、黒曜石原石(2~3cm大)3~4個のつまったミニチュア土器が正位にて出土。

58号住居跡

(位置) J' -24、K' -24・25グリッドに位置している。

(形態・規模) 住居址中央を東西方向に攪乱が走り、炉址も削られ、西壁はその攪乱により削平され、東壁の一部も攪乱により削平を受け、J' -24イ土坑とも重複しているため残存しない。形態は楕円形を呈するものと考えられる。規模は長径残存4.50m、短径4mを測る。

(壁・周溝) 壁はなだらかに立ち上がり、深さが北17cm、南11cmを測る。周溝はないが、溝状の部所もある。

(床面) ローム地山床。

(柱穴) 支柱穴は不明。P-1 (深さ85cm)、P-2 (深さ74cm)、P-3~5が50cm台の深さ、P-6が32cmで、他は20cm台以下の浅いピット。

(炉) 地床炉で、径残存50×60cmを測る。

(時期) 曾利式期。

(出土遺物) 曾利期ミニチュアが横位にて床直で出土。本住居との関係は不明だが、南西方向壁際に掘り込みを伴う埋甕がある。また、住居址北西壁のすぐ外に、K' 24の1号炉がある。

(覆土) 本址は、暗褐色土を基調とし、ローム粒子が多く、木炭片を少量含んでいる。

59号住居跡

(位置) L' -24、M' -24・25グリッドに位置している。西側半分は、調査区外。

(重複・改築) 確認できた住居址半分の真中、東西方向に攪乱が入って分断している。

(形態・規模) 西側半分は、調査区外に入っている。形態は円形を呈するものと考えられる。規模は長径5.40m、短径残存2.75mを測る。

(壁・周溝) 壁はゆるやかに傾斜して立ち上がり、深さが北17cm、東10cm、南7cmを測る。周溝は存在しない。

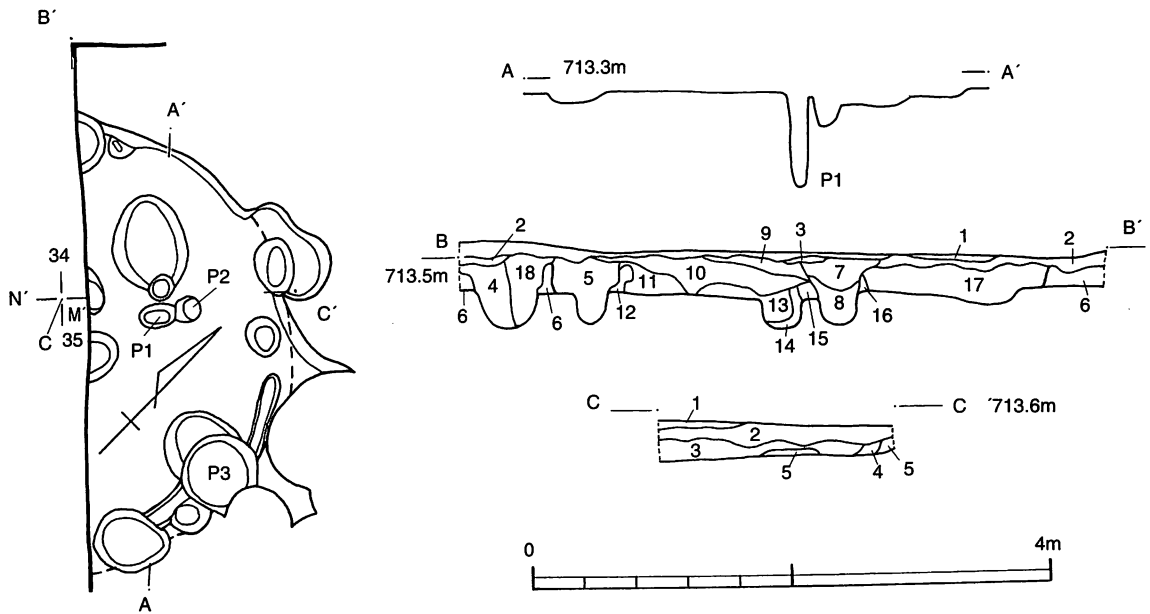
(床面) ローム地山床。全体に硬化する。

(柱穴) 支柱穴は調査できた範囲では、3本確認できた。P-1(深さ47cm)、P-2(深さ60cm)、P-3(深さ60cm)である。他に深いピットは40cm台がP-4とL' 24二土坑、30cm台がP-5~11で、他は20cm以下。

(炉) 地床炉で、径残存130×残存82cm、深さ18cmを測り、厚さ12cmの焼土がある。炉址も攪乱により南側の一部を壊されている。

(時期) 五領ヶ台式期。

(覆土) 覆土は、暗褐色土を基調としており、全体に炭化粒子を多く含んでいる。

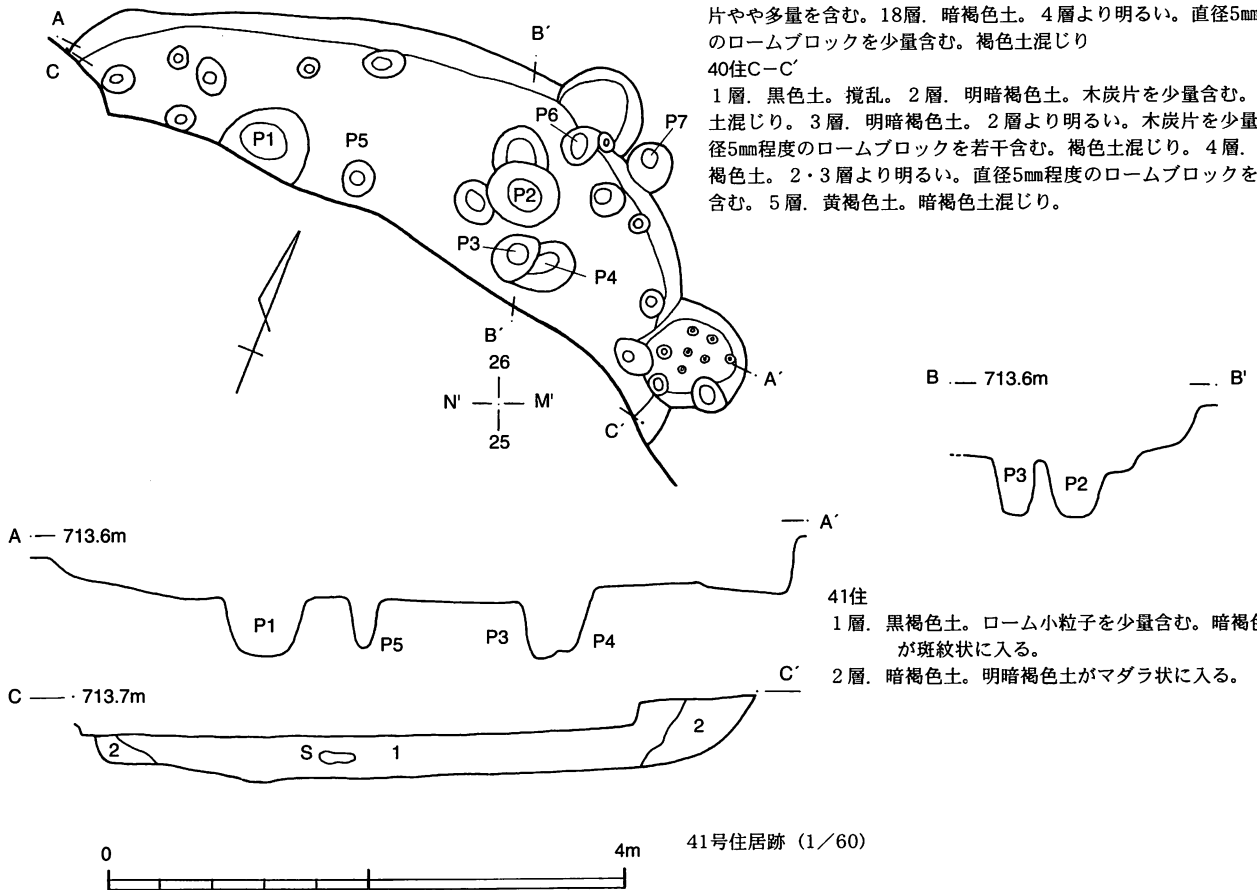


41号住居跡 (1/60)

40住 B-B'ライン

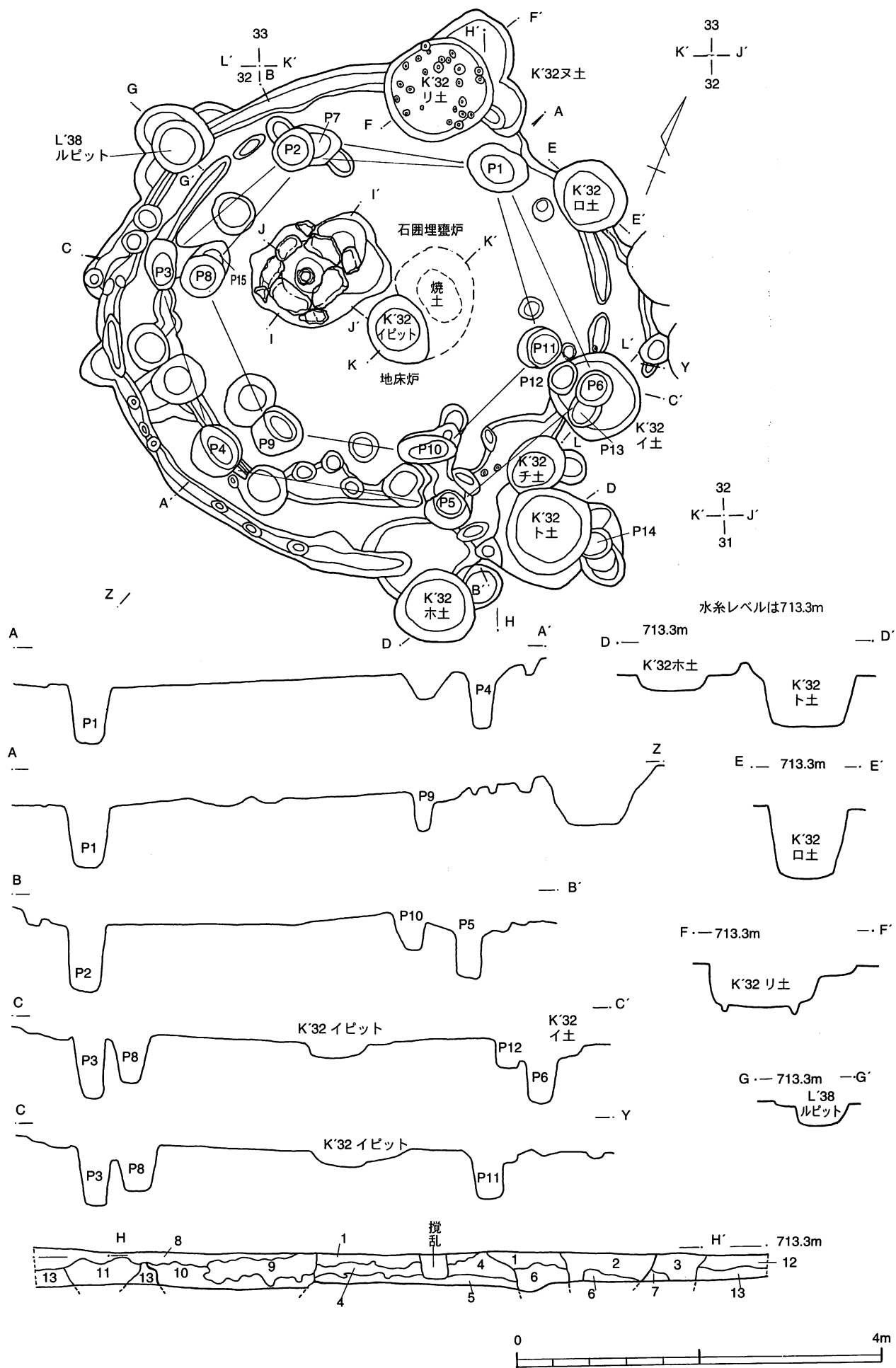
1層. 黒色土. 攪乱. 2層. 明暗褐色土. 木炭片を若干, 直径1~5mm程度のロームブロックを少量含む. 暗褐色土混じり. 3層. 暗褐色土. 黒褐色土を少量, 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 4層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを若干, 直径1mm程度のロームブロックを少量, 木炭片を若干含む. 5層. 暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを多量に, 木炭片を若干含む. 6層. 黄褐色土. 暗褐色土混じり. 7層. 暗褐色土. 17層より明るい. 明暗褐色土混じり. 木炭片を若干含む. 8層. 暗褐色土. 7層より暗い. 木炭片を若干, 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 9層. 暗褐色土. 7・8層より暗い. 褐色土混じり木炭片を若干, 直径5mm程度のロームブロックを若干含む. 10層. 明暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを多量に含む. 黒褐色土混じり. 木炭片を若干含む. 11層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを少量, 木炭片を若干含む. 12層. 暗黄褐色土. 暗褐色土混じり. 13層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 14層. 黄褐色土. しまりあり. 15層. 明暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを多量に含む. 16層. 暗黄褐色土. 暗褐色土混じり. 17層. 暗褐色土. 直径5mm程度のロームブロック, 直径1cm程度のロームブロック少量, 木炭片やや多量を含む. 18層. 暗褐色土. 4層より明るい. 直径5mm程度のロームブロックを少量含む. 褐色土混じり

40住 C-C'
1層. 黒色土. 攪乱. 2層. 明暗褐色土. 木炭片を少量含む. 褐色土混じり. 3層. 明暗褐色土. 2層より明るい. 木炭片を少量, 直径5mm程度のロームブロックを若干含む. 褐色土混じり. 4層. 明暗褐色土. 2・3層より明るい. 直径5mm程度のロームブロックを若干含む. 5層. 黄褐色土. 暗褐色土混じり.

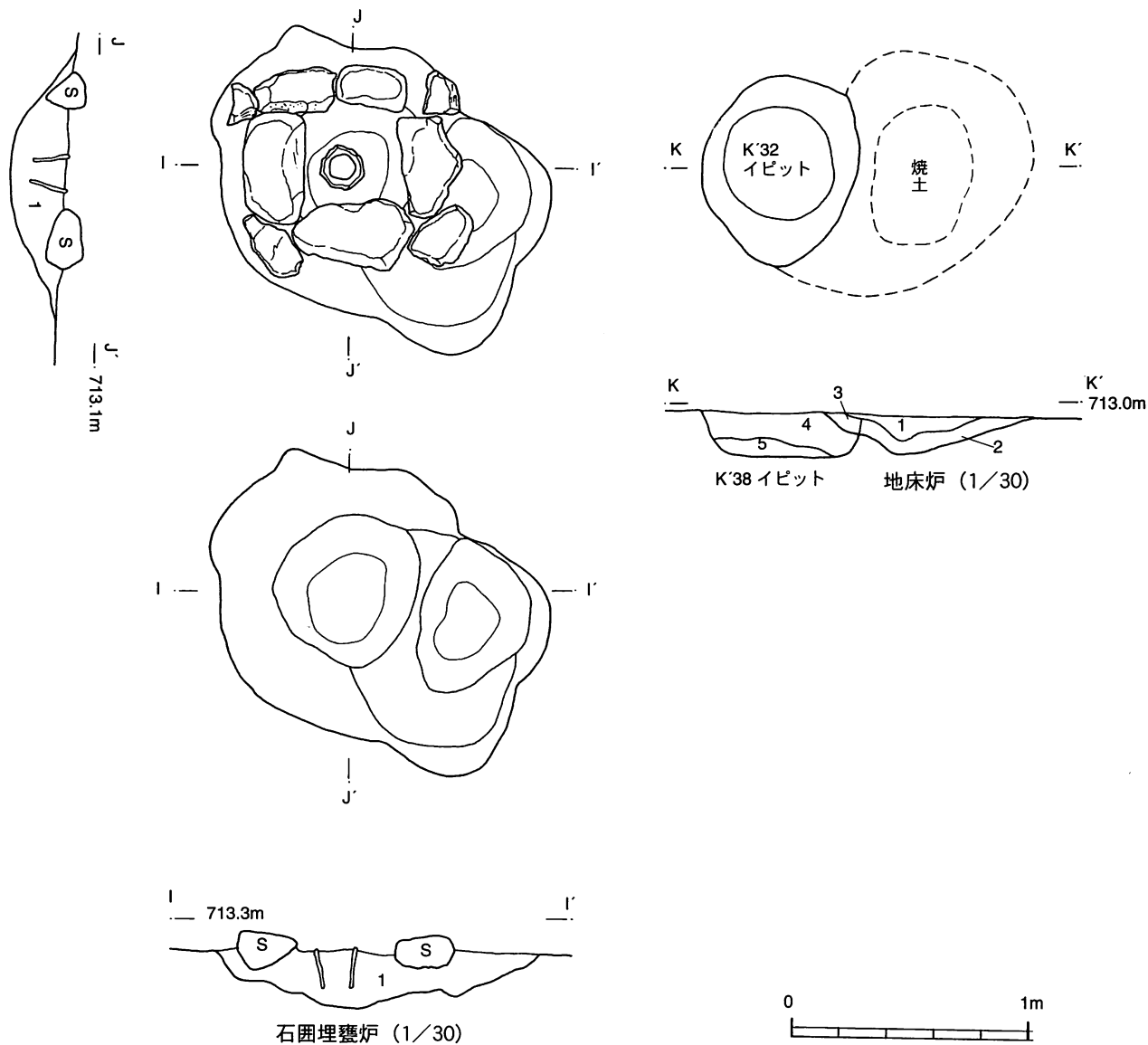


41号住居跡 (1/60)

第1図 40・41号住居跡 (1/60)

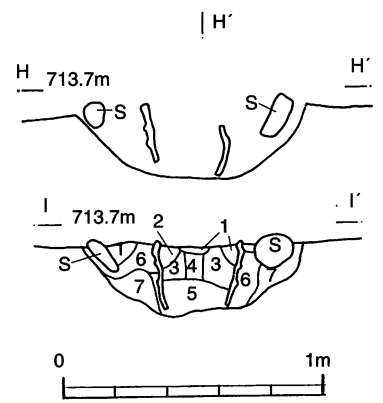
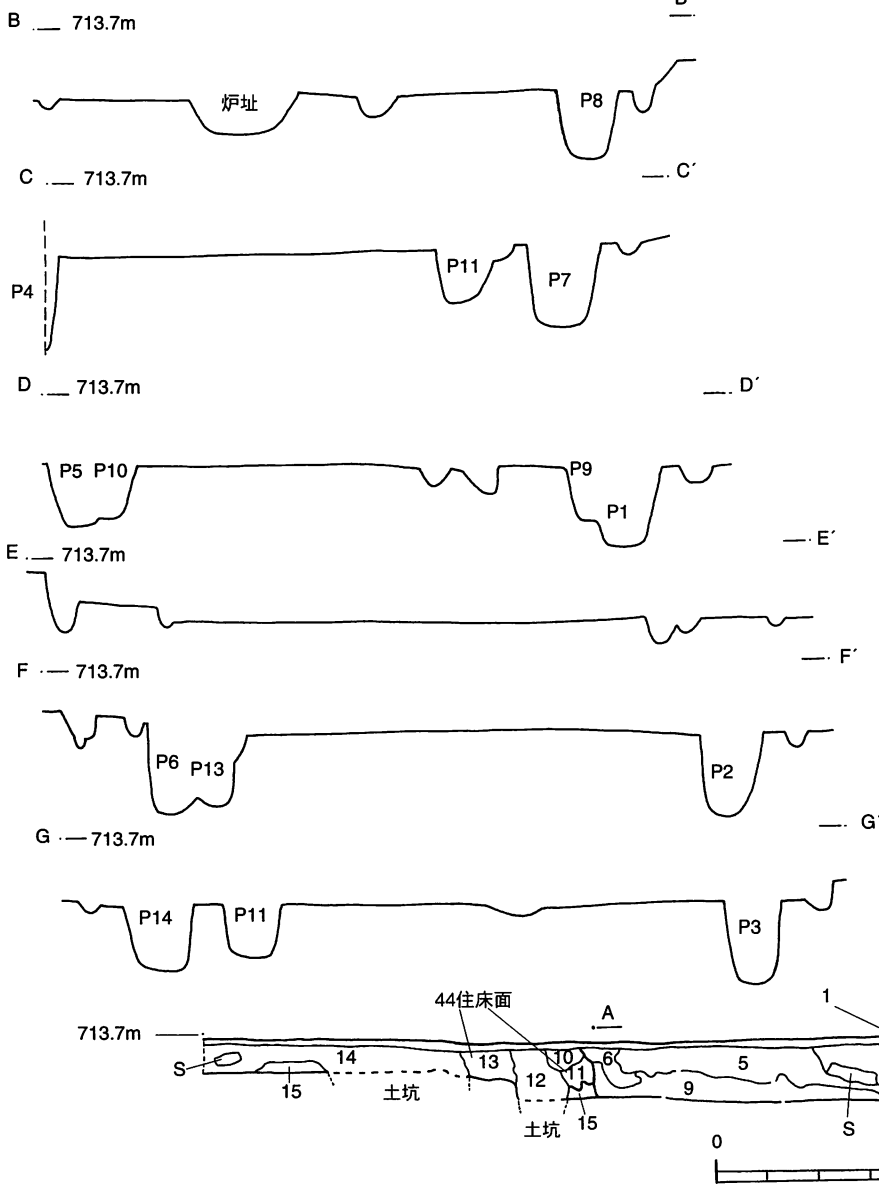
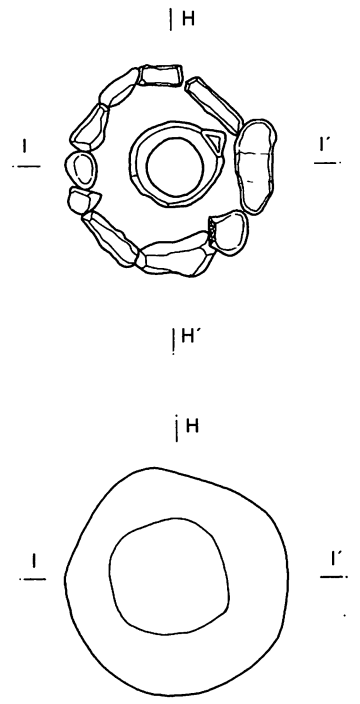
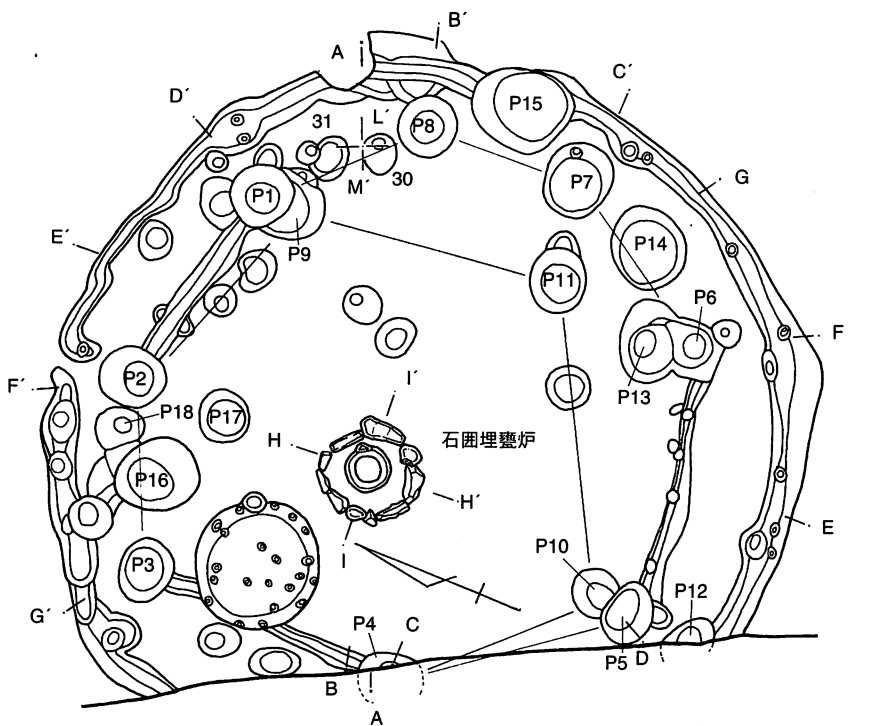


第2図 42号住居跡 (1) (1/60)



- 42住
 1層. 明黒褐色土。2層. 暗褐色土。3層. 暗褐色土。2層より明るい。4層. 明黒色土。5層. 明黒褐色土。6層. 黒褐色土。7層. 明黒褐色土。8層. 暗褐色土。9層. 黒色土。10層. 黒褐色土。11層. 明黒褐色土。12層. 明暗褐色土。自然層。13層. 黄褐色ローム層
- 42住炉跡
 1層. 暗褐色土。直径5mm程度のロームブロック少量、焼土粒多量、木炭片多量を含む。
 1号焼土、イピット
 1層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干、焼土粒を少量含む。2層. 赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。ボソボソしている。
 3層. 暗褐色土。焼土を多量に、直径5mm程度のロームブロックをやや多量に含む。1層より暗い。4層. 暗褐色土。直径1~5mm程度のロームブロックを少量、焼土を若干、木炭片を若干含む。5層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。

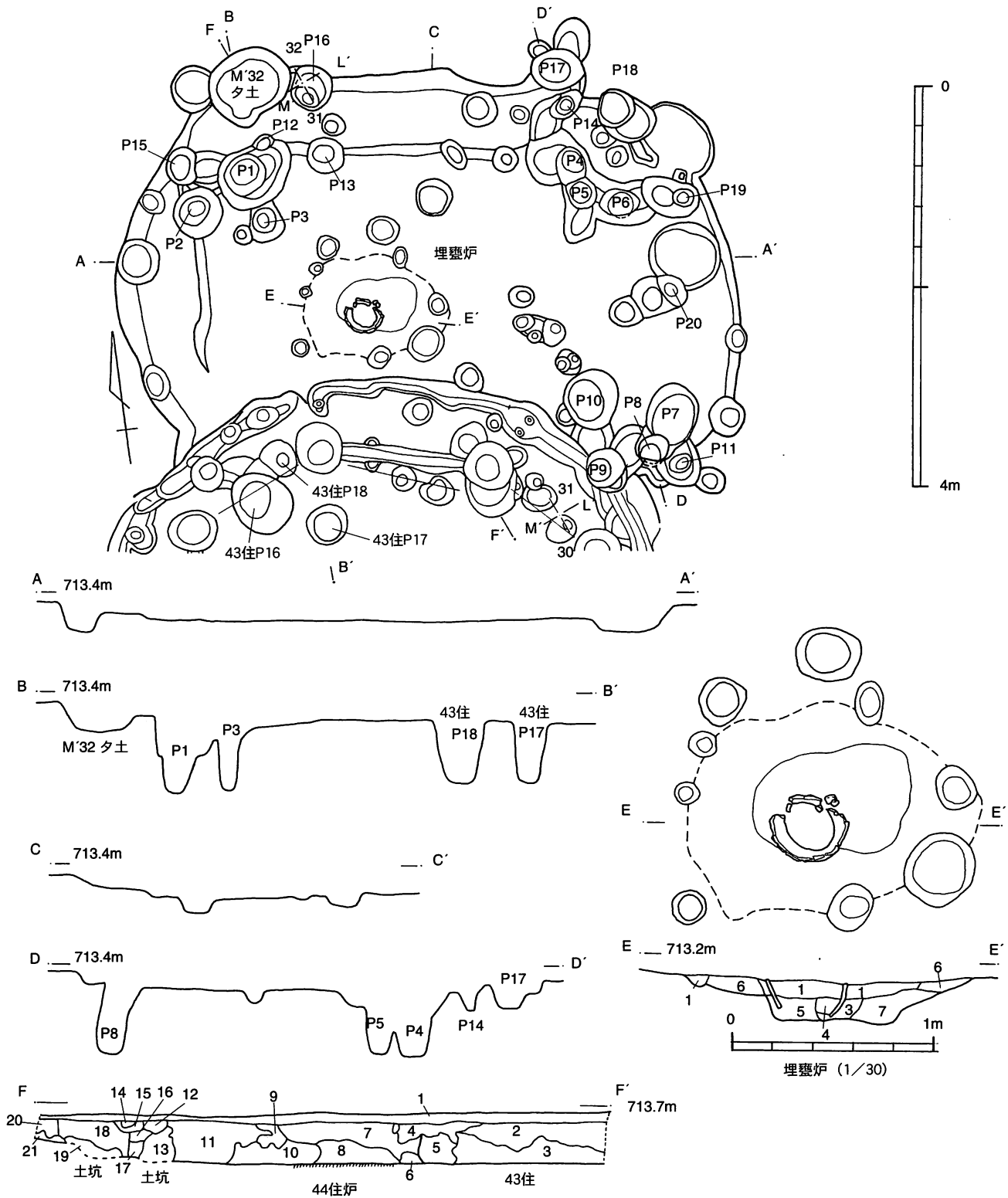
第3図 42号住居跡 (2) (1/30)



43住
 1層. 表土耕作土。2層. 明暗褐色土。斑文がみられる。
 3層. 暗褐色土。土器片を多量に含み、木炭片が少量みられる。
 4層. 明暗褐色土。木炭片を多く含むが、8層より少ない。
 5層. 暗褐色土。木炭片をほとんど含まない。
 6層. 明暗褐色土。ローム小粒子を少量含む。
 7層. 黒褐色土。木炭片とローム小ブロックを多量に含む。
 8層. 黒色土。木炭片を最も多量に含み、ローム小ブロックも多量に含む。
 9層. 黒褐色土。木炭片を多量に含む。
 10層. 明暗褐色土。11層. 明暗褐色土。ローム小粒子を多量に含み硬質。
 12層. 暗褐色土。13層. 明暗褐色土。14層. 暗褐色土。15層. ローム層。

43住炉址
 1層. 暗褐色土。やや明るい。直径1mm程度のロームブロックを多量に含む。
 2層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを多量に含む。
 3層. 黒褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を多量に含む。
 4層. 暗赤褐色土。焼土粒を多量に、直径1mm程度のロームブロックを多量に含む。
 5層. 明暗褐色土。焼土粒を多量に、直径1cm程度のロームブロックをやや多量に含む。
 6層. 黒褐色土。直径1~5mm程度のロームブロック多量、木炭片多量を含む。
 7層. 赤褐色土。焼土。

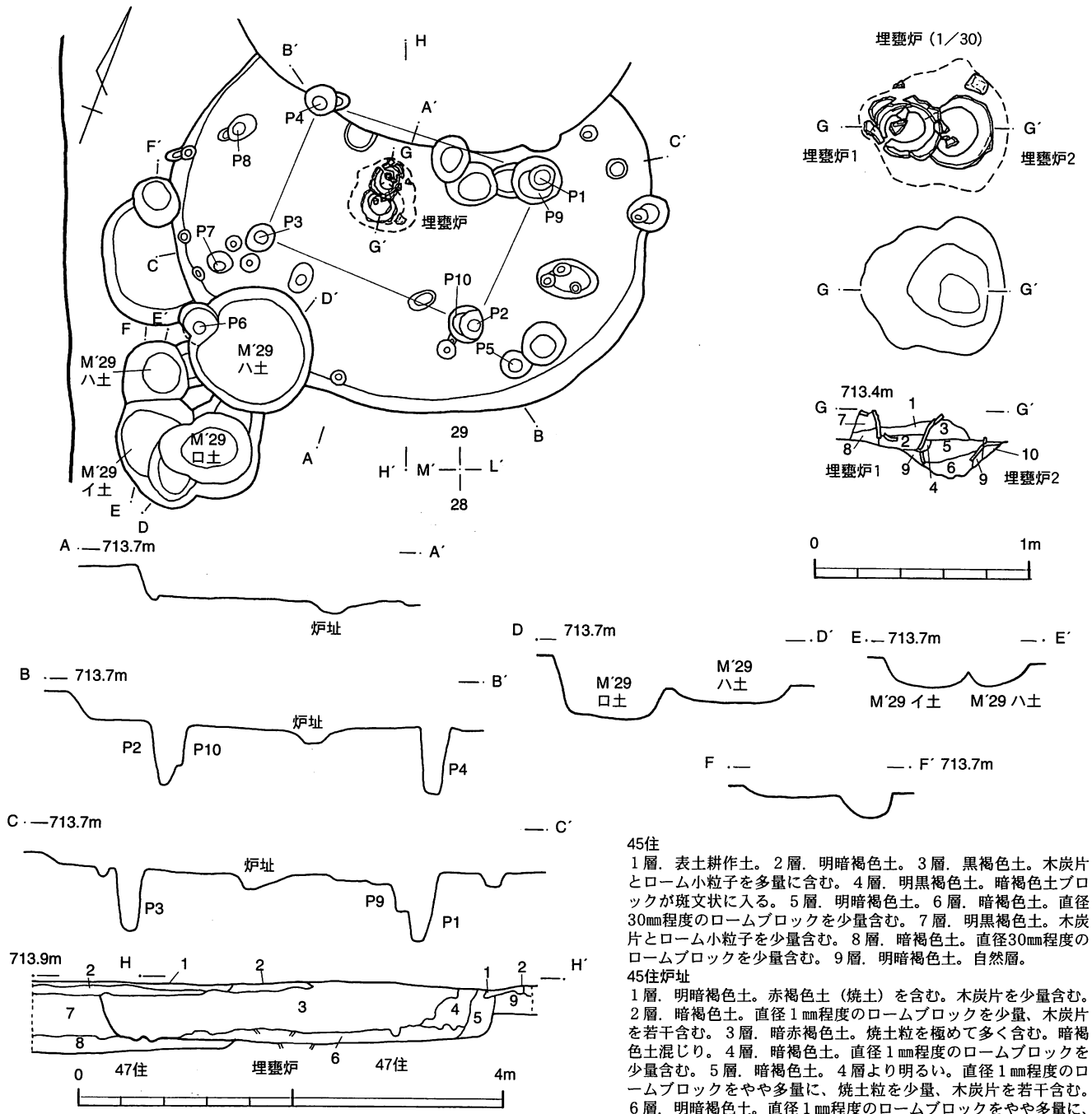
第4図 43号住居跡 (1/60)



44住
 1層. 表土耕作土。2層. 明黒褐色土。3層. 黒褐色土。木炭片が多量に入る。4層. 明暗褐色土。5層. 明黒褐色土。6層. 明暗褐色土。7層. 暗褐色土。8層. 暗褐色土。焼土粒子が多量に入る。9層. 明暗褐色土。褐色土ブロックが入る。10層. 明暗褐色土。11層. 暗褐色土。灰褐色土ブロックが斑文状に入る。12層. 黒褐色土ブロック。13層. 明暗褐色土。灰褐色土ブロックが斑文状に最も多く入る。14層. 褐色土ブロック。15層. 暗褐色土。16層. 暗褐色土。15層より暗い。17層. 明暗褐色土。ロームブロックが入る。18層. 暗褐色土。15層より暗く16層より明るい。19層. 暗褐色土。18層より暗い。20層. 黒褐色土。21層. ローム層。

44住炉址
 1層. 暗褐色土。焼土粒を多量に、木炭片を少量、直径1mm程度のロームブロックを少量含む。2層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。3層. 暗褐色土。1層より暗い。焼土粒を極めて多量に含む。4層. 赤褐色土。焼土。暗褐色土混じり。5層. 暗褐色土。焼土粒を多量に含む。1層より暗い。6層. 赤褐色土。焼土。7層. 暗褐色土。焼土粒を多量に、木炭片を若干含む。

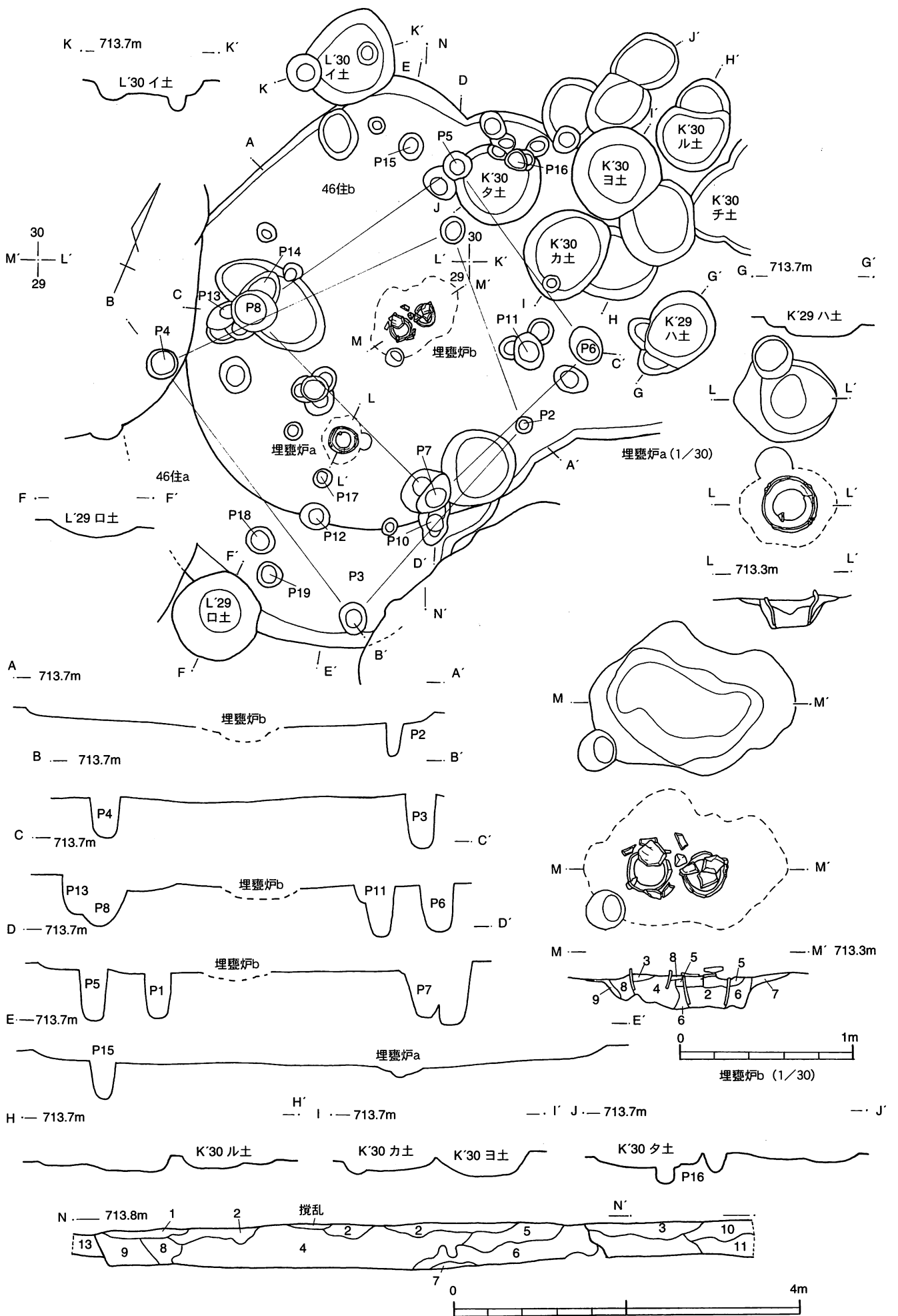
第5図 44号住居跡 (1/60)



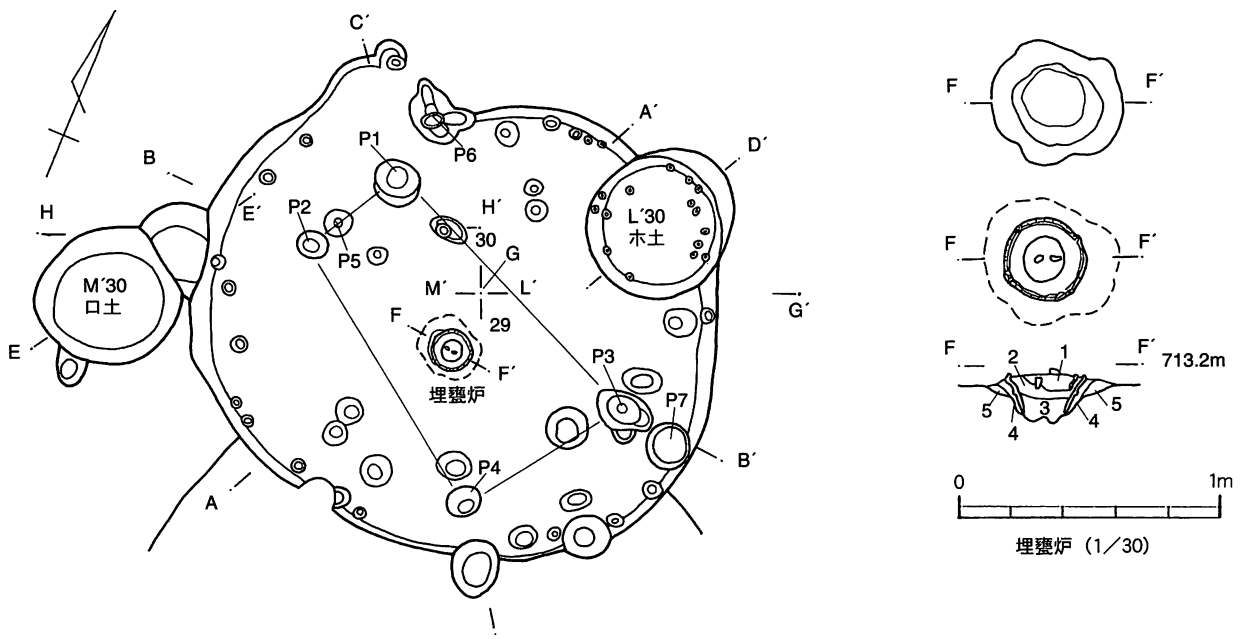
- 46住**
 1層. 明黒褐色土。2層. 暗褐色土。3層. 明暗褐色土。4層. 黒色土。5層. 黒褐色土。6層. 明黒褐色土。暗褐色土ブロックが斑文状に入る。7層. 暗褐色土。8層. 明黒褐色土。木炭片、ロームブロックを少量含む。9層. 暗褐色土。10層. 暗褐色土。11層. 黒色土。木炭片、焼土粒、ローム小粒子を多量に含む。12層. 黒褐色土。暗褐色土ブロックが斑文状に入り、木炭片、ローム小粒子を少量含む。13層. 明暗褐色土。自然層。
- 46住炉址 a**
 1層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、木炭片を少量含む。2層より明るい。2層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。3層. 暗褐色土。焼土粒を多量に、直径1mm程度のロームブロックを若干含む。4層. 赤褐色土。焼土。
- 46住炉址 b**
 1層. 暗褐色土。2層より明るい。焼土粒を多量に、木炭片を少量含む。2層. 暗褐色土。焼土粒を多量に、木炭片をやや多量に含む。3層. 暗褐色土。4層より明るい。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を多量に含む。4層. 暗褐色土。直径5~10mm程度のロームブロックをやや多量に、焼土粒を多量に、木炭片をやや多量に含む。5層. 暗赤褐色土。焼土粒を極めて多量に含む。6層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。7層. 赤褐色土。焼土。8層. 明暗褐色土。焼土粒を多量に、木炭片を少量含む。9層. 赤褐色土。焼土。

- 45住**
 1層. 表土耕作土。2層. 明暗褐色土。3層. 黒褐色土。木炭片とローム小粒子を多量に含む。4層. 明黒褐色土。暗褐色土ブロックが斑文状に入る。5層. 明暗褐色土。6層. 暗褐色土。直径30mm程度のロームブロックを少量含む。7層. 明黒褐色土。木炭片とローム小粒子を少量含む。8層. 暗褐色土。直径30mm程度のロームブロックを少量含む。9層. 明暗褐色土。自然層。
- 45住炉址**
 1層. 明暗褐色土。赤褐色土(焼土)を含む。木炭片を少量含む。2層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。3層. 暗赤褐色土。焼土粒を極めて多く含む。暗褐色土混じり。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。5層. 暗褐色土。4層より明るい。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、焼土粒を少量、木炭片を若干含む。6層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、焼土を多量に含む。7層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、焼土粒を多量に含む。8層. 暗褐色土。7層より明るい。焼土粒を少量、木炭片を少量含む。9層. 暗褐色土。やや暗い。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。10層. 赤褐色土。焼土。

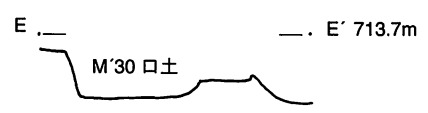
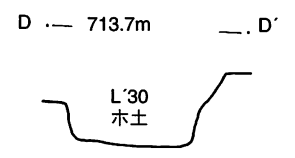
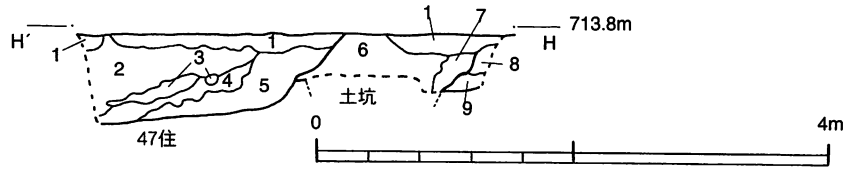
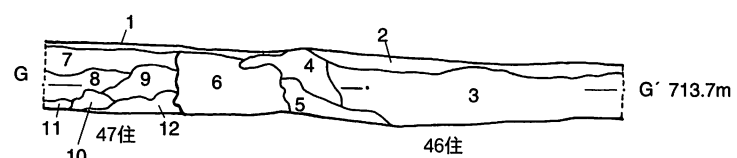
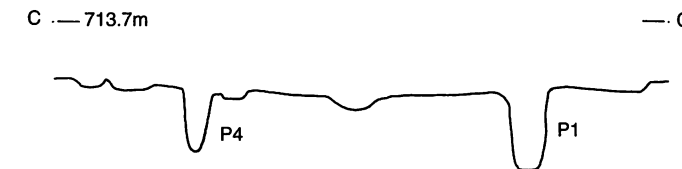
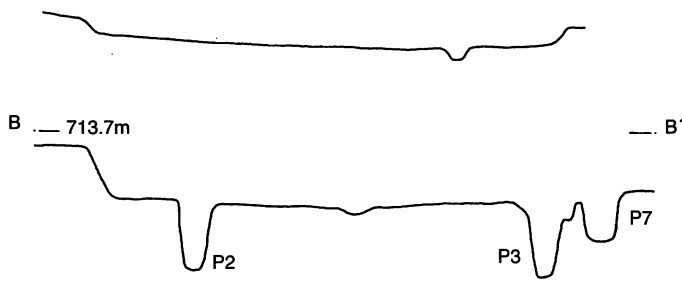
第6図 45号住居跡 (1/60)



第7図 46号住居跡 (1/60)



A — 713.7m — A'

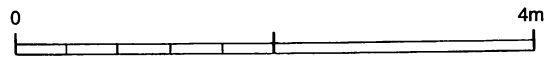
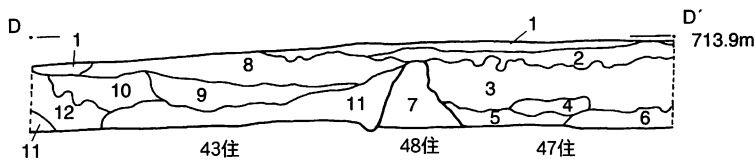
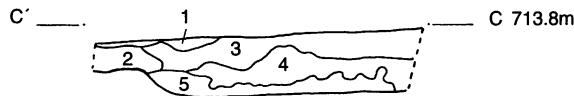
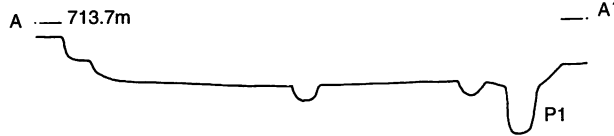
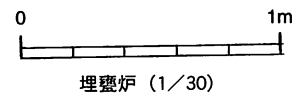
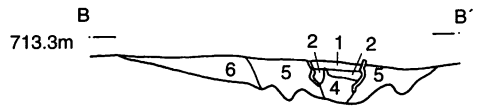
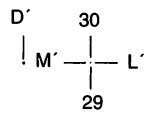
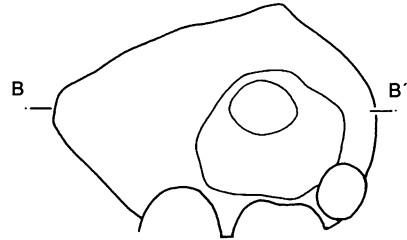
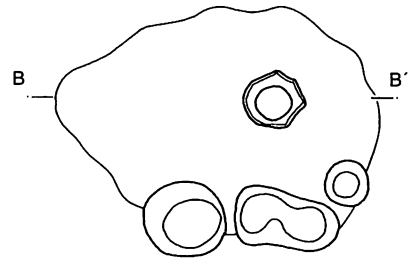
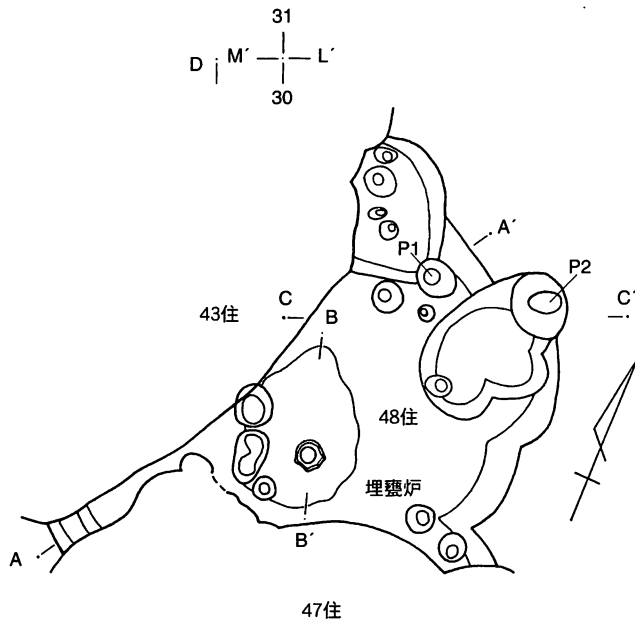


47住炉址
 1層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、焼土粒を少量含む。2層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量含む。1層より暗い。木炭片を少量含む。3層. 明暗褐色土。焼土粒を多量に含む。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックをやや多量に、焼土粒を多量に含む。やや暗い。5層. 赤褐色土。焼土。

47住G-G' ライン
 1層. 耕作土。2層. 明暗褐色土。3層. 黒色土。木炭片、焼土粒子、ローム小粒子を多量に含む。4層. 黒褐色土。木炭片等をまったく含まない。5層. 明黒褐色土。木炭片等をまったく含まない。6層. 暗褐色土。7層. 明暗褐色土。8層. 黒褐色土。木炭片、ローム小ブロックを少量含む。9層. 明黒褐色土。10層. ロームブロック。11層. 明黒褐色土。ローム小ブロックを多量に含む。12層. 明黒褐色土。木炭片、ローム小粒子を少量含む。

47住H-H' ライン
 1層. 明暗褐色土。2層. 黒褐色土。木炭片、ローム小ブロックを少量含む。3層. 褐色ロームブロック。黒褐色土ブロックも混在。4層. 明黒褐色土。直径30mm程度のロームブロックを少量含む。5層. 暗褐色土。直径30mm程度のロームブロックを多量に含み粘性が強い。6層. 明黒褐色土。ローム小ブロックを少量含む。土坑覆土。7層. 暗褐色土。粘性強。土坑覆土。8層. 暗褐色土。自然層。9層. ローム層。

第8図 47号住居跡 (1/60)



48住C-C' ライン

1層. 明暗褐色土。2層. 暗褐色土。3層. 明黒褐色土。ローム小ブロックを少量含む。4層. 黒褐色土。木炭片とローム小ブロックを少量含む。5層. 暗褐色土。明黒褐色土ブロックの斑文が入り、直径20mm程度のロームブロックを少量含む。

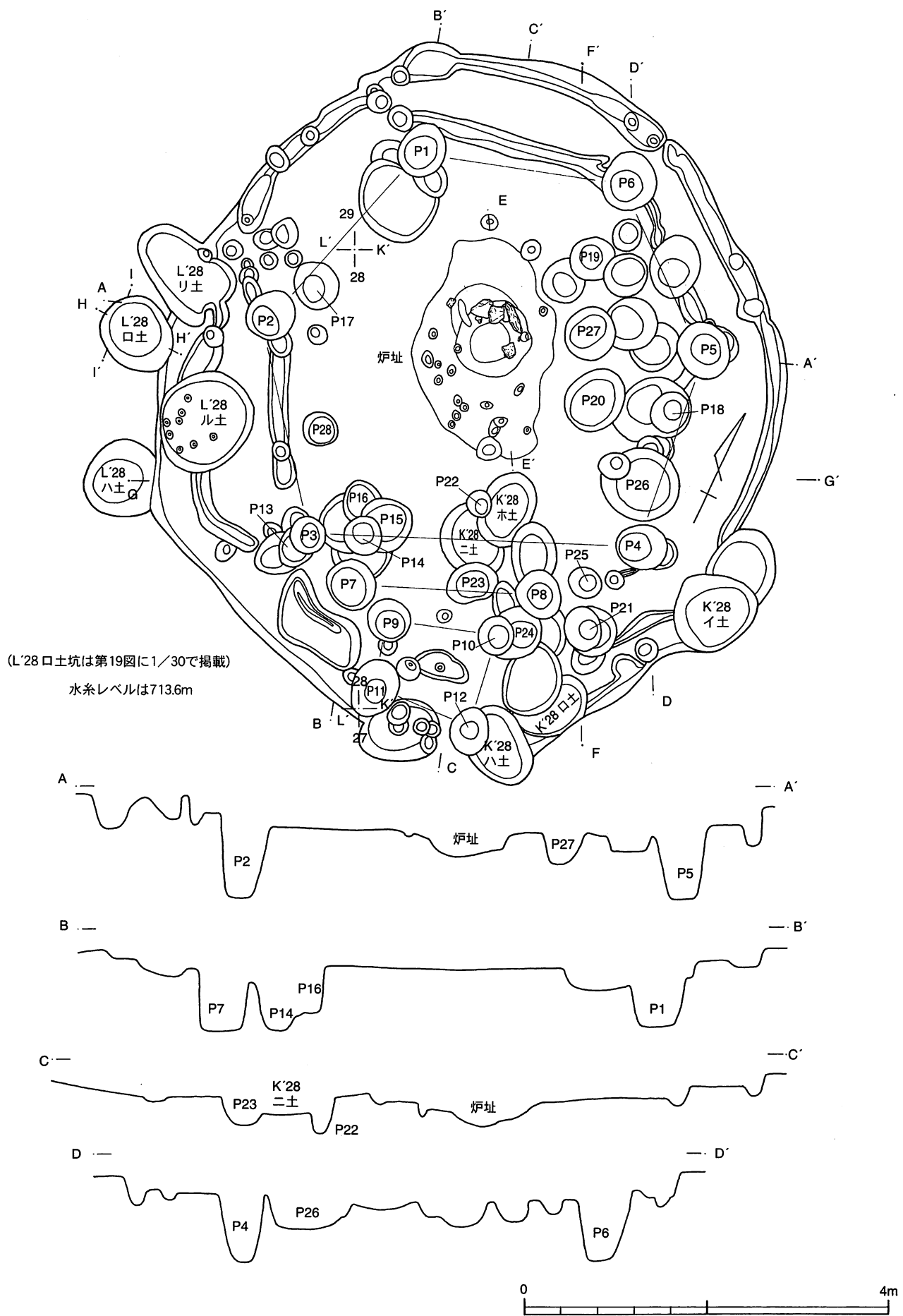
48住D-D' ライン

1層. 表土耕作土。2層. 明暗褐色土。3層. 明黒褐色土。木炭片とローム小粒子を少量含む。4層. 暗褐色土。暗褐色土ブロックを斑文状に含む。5層. 黒褐色土。木炭片、ローム小ブロックを多量に含む。6層. 暗褐色土。直径30mm程度のロームブロックを少量含む。7層. 暗褐色土。8層. 明暗褐色土。ローム小粒子を多量に含む。9層. 暗褐色土。褐色土ブロックが斑文状に入る。10層. 明黒褐色土。木炭片を少量含む、ローム小粒子を多量に含む。11層. 黒褐色土。木炭片、ローム小粒子を多量に含む。12層. 暗褐色土。ローム小粒子を多量に含む。

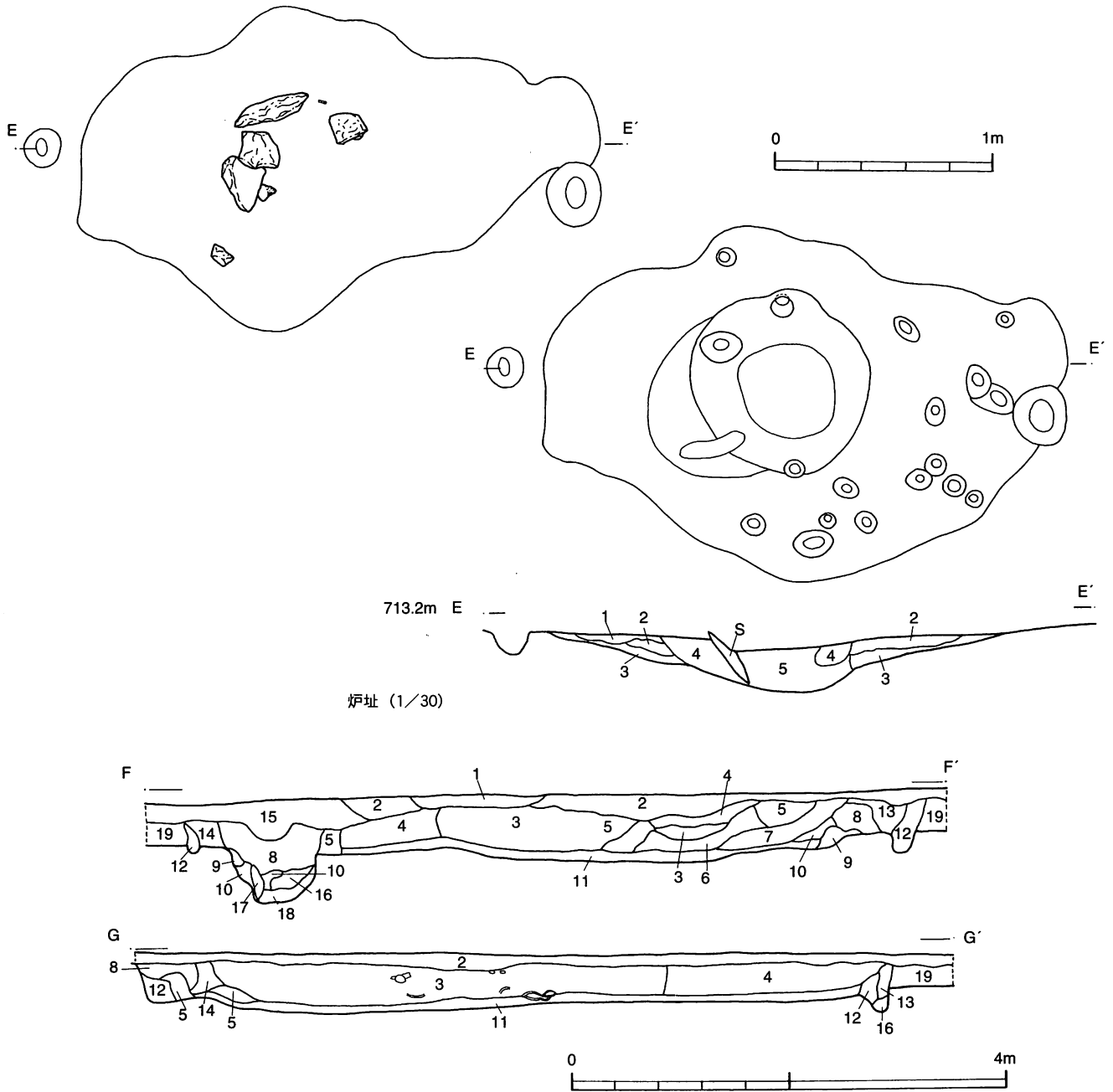
48住炉址

1層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を若干含む。2層. 明暗褐色土。焼土粒をやや多量に、直径1mm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量含む。3層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを若干含む。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックを若干、木炭片を若干含む。5層. 明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを若干、直径1mm程度のロームブロックを少量、焼土粒を少量含む。6層. 赤褐色土。焼土。

第9図 48号住居跡 (1/60)



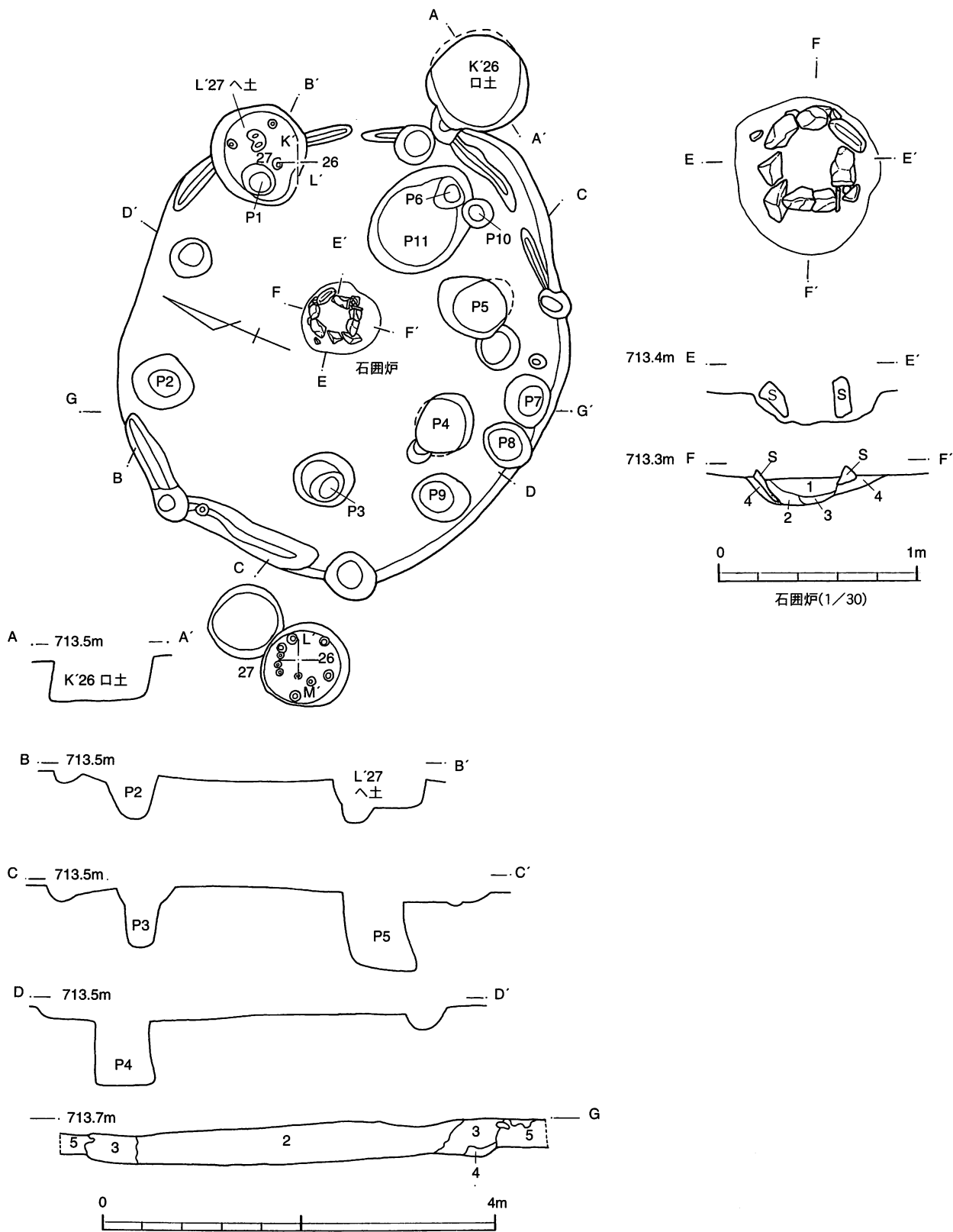
第10図 49号住居跡 (1) (1/60)



49住
 1層. 暗褐色土。直径1~2mm程度のローム粒多量、直径3mm程度の木炭片少量を含む。2層. 暗褐色土。1層より明るい。直径1mm程度のローム粒多量、直径1mm程度の木炭片少量を含む。3層. 暗黒褐色土。直径2mm程度のローム粒、焼土粒少量を含む。4層. 暗褐色土。直径1~5mm程度のローム粒を多量に含む。5層. 暗褐色土。4層より暗い。直径8mm程度のローム粒を少量含む。6層. 暗黒褐色土。直径1~10mm程度のローム粒、直径5mm程度の木炭片、直径3mm程度の焼土粒を多量に含む。7層. 暗褐色土。直径3mm程度の焼土粒を少量、直径1mm程度のローム粒を多量に含む。8層. 暗褐色土。ソフトロームを斑文状に含み、直径3mm程度の木炭片を多量に含む。9層. 暗褐色土。直径15mm程度のハードロームブロックを少量含む。10層. 暗茶褐色土。ソフトローム主体で斑文状に含む。11層. 暗褐色土。直径4mm程度のローム粒を多量に含む。12層. 暗褐色土。直径2mm程度のローム粒を微量に含む。13層. 暗褐色土。直径1~3mm程度の木炭片を微量に含む。14層. 暗茶褐色土。ソフトロームを斑文状に含み、直径3mm程度の木炭片を少量含む。15層. 暗褐色土。ソフトロームを斑文状に含み、直径2mm程度のローム粒を多量に含む。16層. 暗褐色土。直径7mm程度のローム粒、直径1mm程度の木炭片少量を含む。17層. 明暗褐色土。直径1mm程度のローム粒を少量含む。18層. 暗茶褐色土。ハードロームブロック主体。19層. 明暗褐色土。自然層。

49住炉址
 1層. 焼土。2層. 暗赤褐色土。直径1mm程度の焼土粒多し。3層. 黄赤褐色土。余熱により焼成を受けたローム。4層. 暗褐色土。直径2mm程度のローム粒、焼土粒を多量に含む。5層. 暗褐色土。4層より明るい。直径10mm程度のロームブロック多量、直径3mm程度の焼土粒少量を含む。

第11図 49号住居跡 (2) (1/60)



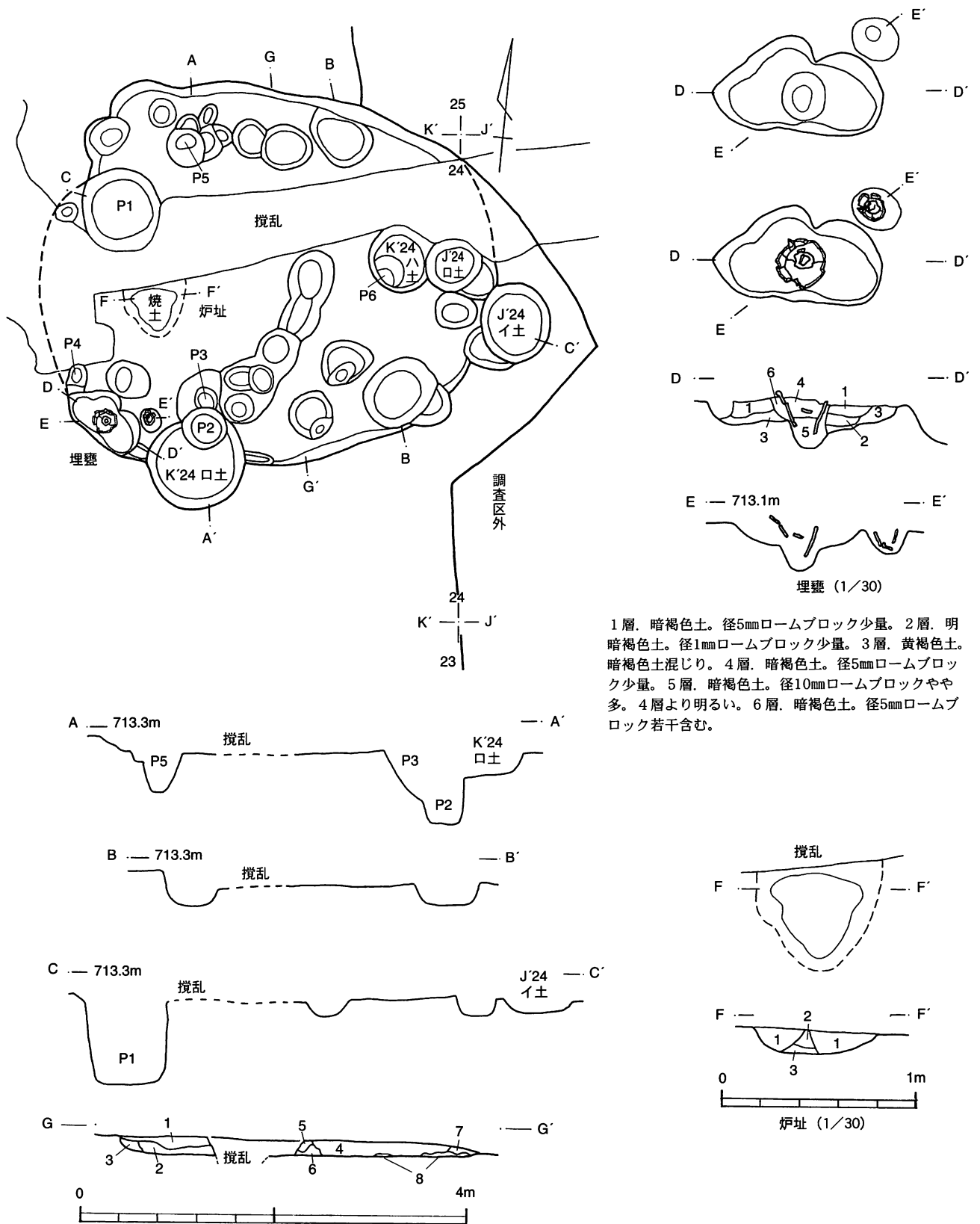
50住

1層. 耕作土。2層. 暗褐色土。3層. 明暗褐色土。5層より暗い。4層. 明暗褐色土。3層や5層より明るい。5層. 明暗褐色土。

50住炉址

1層. 暗褐色土。直径3mm程度のローム粒を少量、直径1mm程度の焼土粒をごくわずかに含む。2層. 暗褐色土。直径1~3mm程度のローム粒を多量に含む。ボソボソしている。3層. 暗褐色土。直径1mm程度の木炭片を少量含む。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のローム粒、焼土粒を含む。

第12図 50号住居跡 (1/60)

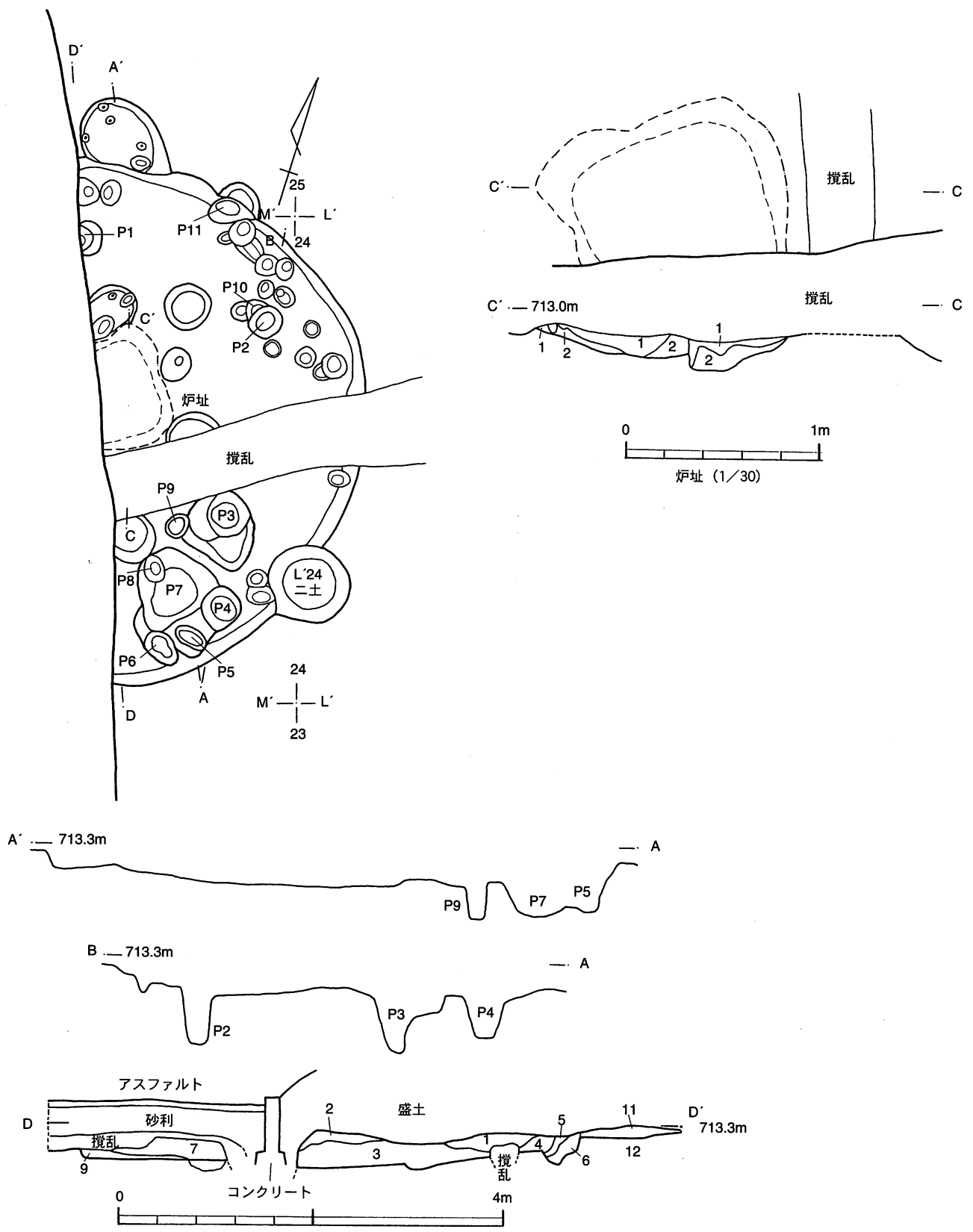


1層. 暗褐色土。径5mmロームブロック少量。2層. 明暗褐色土。径1mmロームブロック少量。3層. 黄褐色土。暗褐色土混じり。4層. 暗褐色土。径5mmロームブロック少量。5層. 暗褐色土。径10mmロームブロックやや多。4層より明るい。6層. 暗褐色土。径5mmロームブロック若干含む。

58住
 1層. 暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックがやや多く入り、木炭片が少量入る。2層. 明暗褐色土。直径10mm程度のロームブロックが少量入り、木炭片も少量入る。3層. 褐色土。木炭片が少量入る。4層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックが多く入り、直径10mm程度のロームブロックが若干入る。木炭片も少量入る。5層. 暗褐色土。4層より暗い。直径1mm程度のロームブロックが少量、木炭片が若干入る。6層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックが少量、木炭片が若干入る。7層. 明暗褐色土。黄褐色土が混入。直径10mm程度のロームブロックが少量入る。8層. 黄褐色土。暗褐色土が混入。

58住炉址
 1層. 明暗褐色土。直径5mm程度のロームブロックを少量、木炭片を少量、焼土粒を少量含む。2層. 黄褐色土。明暗褐色土混じり。3層. 褐色土。暗褐色土若干、木炭片若干を含む。

第13図 58号住居跡 (1/60)



59住

1層. 暗褐色土。直径10~50mm程度のロームブロックがやや多く入り、黒褐色土が混入し、木炭片が多量に入る。2層. 暗褐色土。直径10~50mm程度のロームブロックが少量入り、木炭片も少量入る。3層. 暗褐色土。2層より明るい。直径10~50mm程度のロームブロック、木炭片が多量に入り、明暗褐色土ブロックも混入する。4層. 褐色土。黒褐色土が混入する。直径5mm程度のロームブロックと木炭片が少量入る。5層. 明暗褐色土。黒褐色土が混入する。木炭片がやや多く入る。6層. 明暗褐色土。5層より暗い。直径1mm程度のロームブロックをやや多く含み、木炭片は少量。7層. 明暗褐色土。褐色土が混入。木炭片が多量に入る。8層. 明暗褐色土。7層より明るい。直径10mm程度のロームブロックを少量含む。9層. 暗黄褐色土。暗褐色土が混入する。10層. 明暗褐色土。

59住炉址

1層. 暗褐色土。焼土粒を多量、直径5mm程度のロームブロックをやや多量、木炭片を少量含む。2層. 赤褐色土。焼土。ポロポロ。

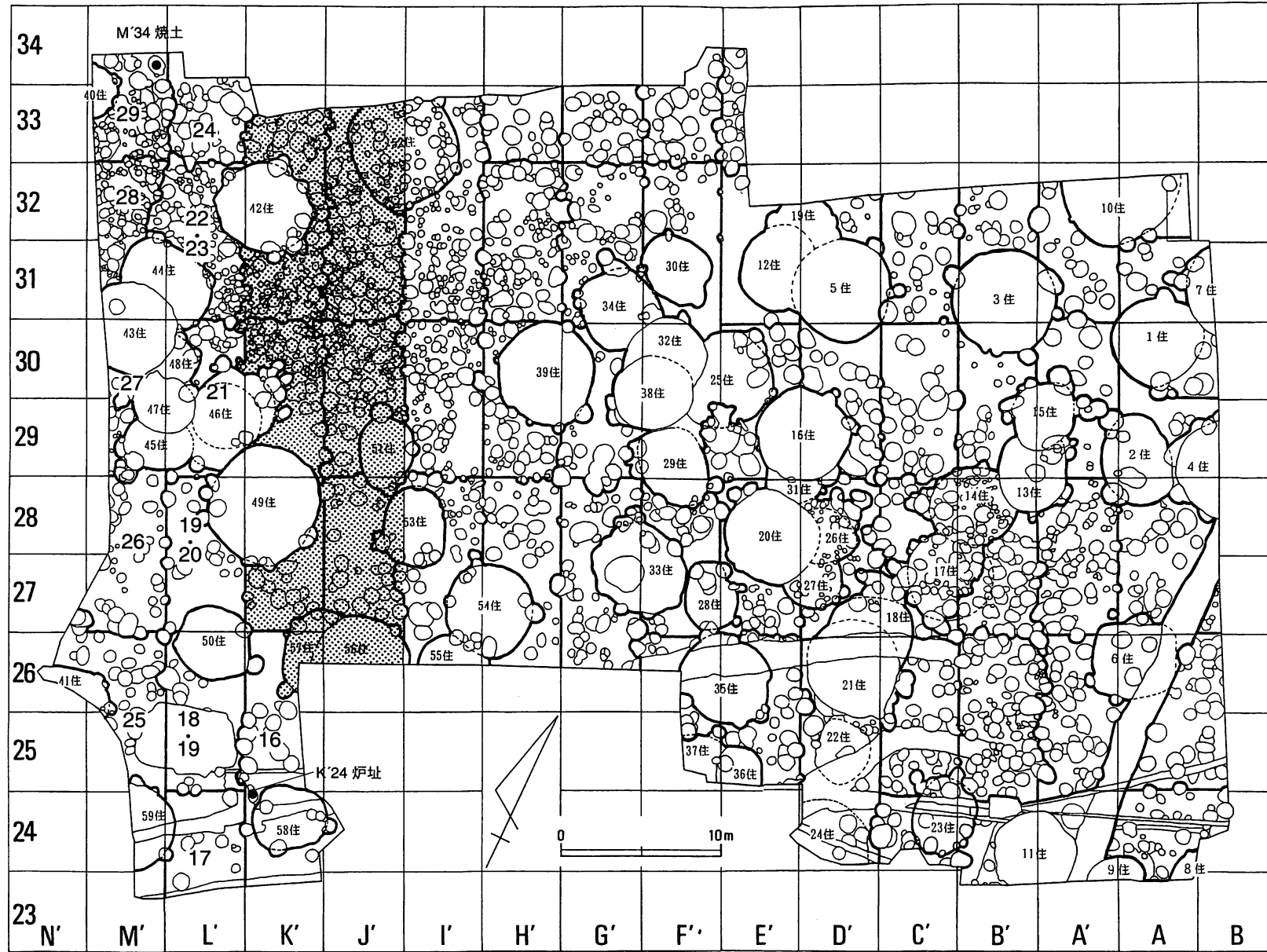
第14図 59号住居跡 (1/60)

第2節 土坑

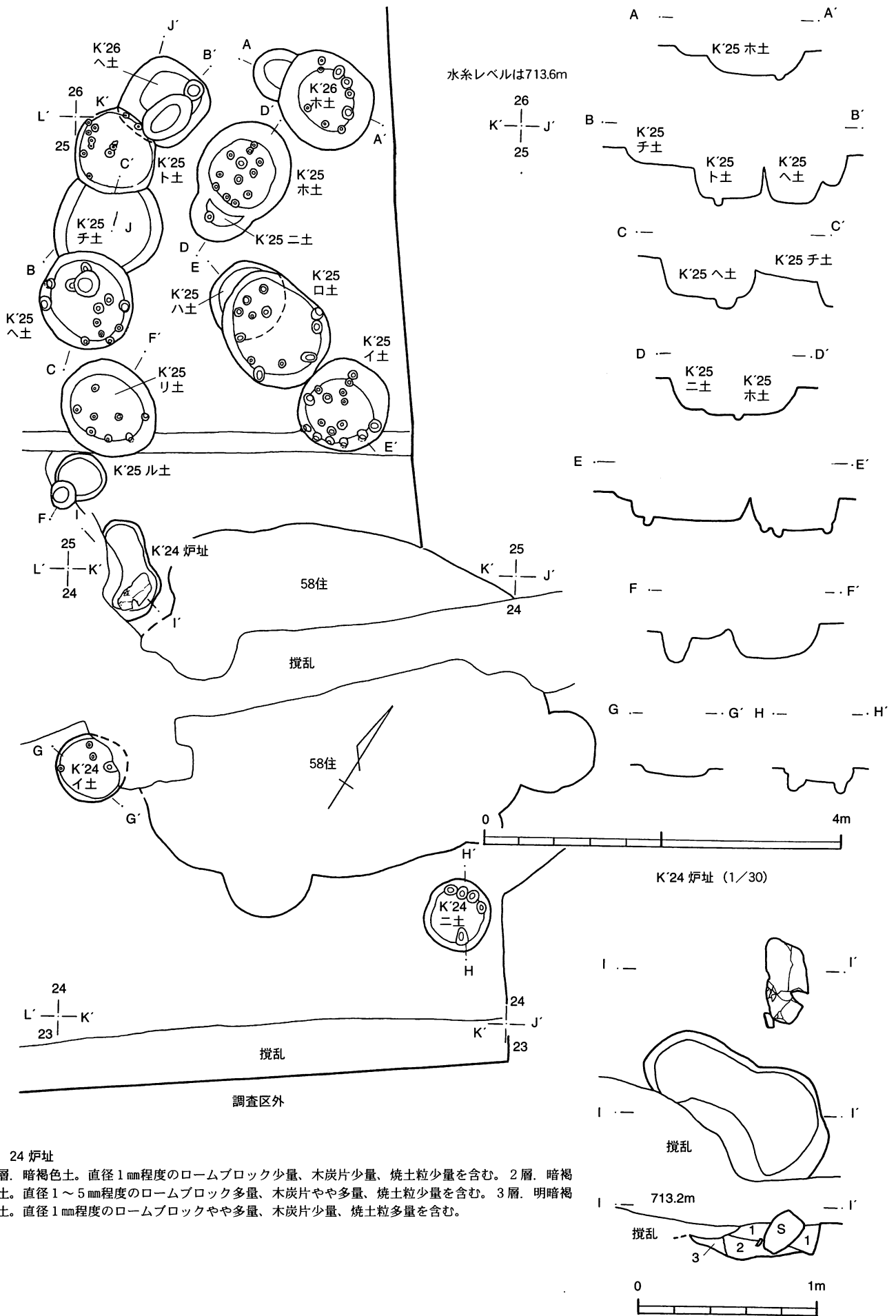
グリッド名	土坑名	時 期	形 態	長 径	短 径	深 さ	立ち上がり	所 見		
K'-24	イ土坑	曾利V	楕円形	78	65	11	皿状	攪括により一部不明瞭 58住南壁と切り合い、攪乱に壊されてる J'-24口土坑と切り合う		
	ロ土坑		円形	105	98	27	急傾斜			
	ハ土坑		円形	68	66	19	傾斜			
K'-25	ニ土坑		円形	78	72	19	急傾斜	K'-25イ土坑と南東側で接し、北西側でK'-25ハ土坑と重複し切られる。覆土は、暗褐色土を基調とし径5~10mmローム粒やや多く含み、カーボン少量も含む J'-25口土坑を切っている。覆土は暗褐色土を基調とする径1~10mmローム粒少量、カーボン若干含む K'-25ホ土坑と切り合う		
	イ土坑		円形	101	100	39	南西壁で急傾斜			
	ロ土坑		楕円形	132	109	31	急傾斜			
	ハ土坑		円形	89	81	10	傾斜			
	ニ土坑		円形	65	60	27	傾斜			
	ホ土坑		楕円形	110	100	32	傾斜			
	ヘ土坑		円形	95	91	47	傾斜			
	ト土坑	円形	118	118	15	皿状				
	チ土坑	楕円形	120	103	15	皿状				
	リ土坑	楕円形	117	100	46	急傾斜	K'-25ル土坑と切り合う			
	ヌ土坑	円形	31	28	36	急傾斜	NOナシ土坑と切り合う			
	ル土坑	円形	60	55	8	傾斜				
L'-23	イ土坑	円形	109	106	35	急傾斜				
L'-24	イ土坑	曾利	おそらく楕円形	残存84	69	25		急傾斜		
	ロ土坑		円形	86	81	16		急傾斜		
	ハ土坑		おそらく楕円形	残存101	残存88	35		傾斜		
	ニ土坑		おそらく円形	84	83	47		傾斜		
	イ土坑		円形	66	60	18		急傾斜		
L'-25	イ土坑		曾利V	円形	105	95		20	急傾斜	59住と重複 北側の上層部が攪乱を受けている L'-26ハ土坑を切り、L'-26ロ土坑と西側で接する。 L'-26イ土坑に北側を切られる
L'-26	イ土坑			円形	92	78		39	オーバーハング	
	ロ土坑			楕円形	163	141	22	皿状		
	ハ土坑			楕円形	163	141	22	皿状		
	ニ土坑			不整円形	62	55	18	傾斜		
	ホ土坑	楕円形		81	66	62	上部はなだらか・中段より傾斜			
	ヘ土坑	不整円形		64	64	18	傾斜			
L'-27	イ土坑	円形		73	72	39	急傾斜	L'-27ハ土坑と重複 L'-27ロ土坑と重複 L'-27ホ土坑と切り合う L'-27ニ土坑と切り合う 50住東壁と切り合う		
	ロ土坑	楕円形		残存50	97	38	急傾斜			
	ハ土坑	不整楕円形		99	89	39	急傾斜			
	ニ土坑	円形	74	残存71	15	皿状				
	ホ土坑	円形	86	84	28	急傾斜				
	ヘ土坑	不整円形	107	98	33	急傾斜				
	ト土坑	円形	57	53	21	急傾斜				
	チ土坑	楕円形	50	42	13	傾斜				
	リ土坑	円形	50	48	8	傾斜				
	ヌ土坑	楕円形	88	73	45	傾斜				
L'-28	イ土坑	五領ヶ台	円形	107	95	27	急傾斜	L'-28ハ土坑と切り合う		
	ロ土坑		円形	90	72	46	急傾斜だが、東側は途中で少し不整形になる			
	ハ土坑		おそらく楕円形	116	残存47	12	急傾斜			
	ニ土坑		円形	75	残存51	8	皿状			
	ホ土坑		不整円形	80	74	16	なだらか			
	ヘ土坑		おそらく円形	85	82	28	傾斜			
	ト土坑		楕円形	78	68	31	傾斜			
	チ土坑		円形	84	74	41	急傾斜			
	リ土坑		おそらく楕円形	120	64	24	傾斜			
	ヌ土坑		ほぼ円形	68	61	13	皿状			
L'-29	ル土坑	五領ヶ台	楕円形	112	100	44	急傾斜	49住床面で確認		
	イ土坑		ほぼ円形	83	75	27	なだらか			
	ロ土坑		ほぼ円形	102	102	31	ゆるやか			
	ハ土坑		円形	23	22	23	急傾斜			
	イ土坑		不整楕円形	115	101	15	傾斜			
	ロ土坑		不整楕円形	85	残存29	58	急傾斜			
	ハ土坑		不整楕円形	43	残存35	58	急傾斜			
	ニ土坑		不整楕円形	80	60	58	急傾斜			
	ホ土坑		円形	108	106	55	傾斜一部オーバーハング			
	イビット		楕円形	32	20	55	傾斜			
L'-31	イ土坑	五領ヶ台	不整楕円形	112	100	63	傾斜	NOナシビットと切り合う 土坑2つ、ビット2つと重複 土坑1つ、ビット2つと重複 L'-31ニ土坑、他土坑1つ、ビット1つと重複 47住北東壁に位置し、切り合う		
	ロ土坑		楕円形	105	72	44	傾斜			
	ハ土坑		楕円形	56	47	15	傾斜			
	ニ土坑		不整楕円形	82	75	15	傾斜			
	イビット		おそらく円形	42	残存25	40	傾斜			
	ロビット		楕円形	48	40	40	傾斜			
	ハビット		不整楕円形	81	残存55	40	傾斜			
	ニビット		円形	35	残存28	40	傾斜			
	ホビット		円形	41	38	40	傾斜			
	ヘビット		円形	45	44	40	傾斜			
トビット	不整円形	44	39	40	傾斜					
チビット	不整楕円形	66	49	40	傾斜					
リビット	不整円形	44	40	40	傾斜					
ヌビット	不整楕円形	残存60	残存42	40	傾斜					
ルビット	不整円形	55	50	40	傾斜					
イビット	不整楕円形	残存57	残存35	40	傾斜					
ロビット	不整楕円形	残存45	推定47	40	傾斜					
カビット	不整円形	残存27	23	40	傾斜					
L'-32	イ土坑		不定形	残存118	残存126	23	傾斜	L'-33レ、M'-32ハ、M'-33ソ、NOナシ土坑と切り合う		

グリッド名	土坑名	時期	形態	長径	短径	深さ	立ち上がり	所見	
L'-32	ロ土坑	藤内	楕円形	103	90	17	皿状	ている 径40cm×深さ25cmと径25cm×深さ8cmのビットがあり、その他小ビットが2つある	
	ハ土坑		不整楕円形	119	87	19	急傾斜	L'-32ニ土坑、L'-32イロビットに切られている	
	ニ土坑		不整楕円形	68	52	44	急傾斜	L'-32ハ土坑を切っている	
	ホ土坑		楕円形	103	73			L'-32ヘ土坑、他土坑2つと重なる	
	ヘ土坑		楕円形	113	93	16	東側は直、西側は皿状	土坑2つと重なる	
	ト土坑		円形	118	110			L'-32ヌ土坑、他土坑1つ、ビット2つと重複	
	チ土坑		不整円形	96	87			ビット2つと重なる	
	リ土坑		不整楕円形	102	83			L'-32ヌ土坑、他ビット2つと重なる	
	ヌ土坑		不整楕円形	残存109	104			L'-32ト土坑、L'-32リ土坑、他ビット3つと重なる。	
	イビット		楕円形	33	26	23	急傾斜	L'-32ハ土坑を切っている	
	ロビット	楕円形	30	25	18	急傾斜	L'-32ハ土坑、NOナシビットを切っている		
	ハビット	円形	30	27	21	急傾斜			
	ニビット	円形	43	43	40	傾斜			
	ホビット	不整円形	48	42			土坑1つと接する		
	ヘビット								
	トビット	楕円形	46	39	15	傾斜			
	チビット	円形	56	56	25	傾斜			
リビット	おそらく楕円形	残存36	45	25	傾斜	42号住周溝ビットと思われる			
ヌビット	円形	34	33						
L'-33	イ土坑	藤内	不整楕円形	残存83	80	27	急傾斜	L'-33ロ土坑と重複	
	ロ土坑		楕円形	147	142	44	急傾斜	L'-33イ土坑、L'-33ハ土坑と重複	
	ハ土坑		円形	115	98	18	急傾斜	L'-33ロ土坑と重なる	
	ニ土坑								
	ホ土坑	おそらく楕円形	残存120	残存79	16	急傾斜	L'-33へ、ニ土坑と切り合う		
	ヘ土坑	楕円形	50	41	15	傾斜	NOナシ土坑と切り合い、その中に位置する		
	ト土坑	おそらく楕円形	70	65	12	傾斜	NOナシ土坑と切り合う		
	チ土坑	円形	87	82	16	傾斜	L'-33リ土坑と切り合っているようだ		
	リ土坑	藤内	おそらく楕円形	146	残存106	24	急傾斜	L'-33チ、ヌ、ル土坑と切り合う	
	ヌ土坑	不明	おそらく円形	110	残存96	20	傾斜	L'-33リ、ル、NOナシ土坑と切り合う	
	ル土坑	不明	楕円形	123	残存100	21	傾斜	L'-33リ、タ土坑と切り合う	
	ヲ土坑	楕円形	103	89	13	傾斜	L'-33リ土坑と重なり、L'-33ル土坑と接する		
	ワ土坑	不整円形	70	67	17	急傾斜	土坑1つと重なる		
	カ土坑	楕円形	残存94	87	11	皿状	径46cmのビット1つと重複		
コ土坑	楕円形	48	37	20	急傾斜				
タ土坑	おそらく楕円形	残存33	46	10	急傾斜	L'-33ル、レ土坑に切られる			
レ土坑	おそらく楕円形	残存85	残存95	30	傾斜	L'-32イ土坑に切れ、L'-33タ土坑を切っている			
L'-34	イ土坑		おそらく円形	47	残存32	14	急傾斜	径30cmのビットと重なる・一部調査区外へ	
	イ土坑		おそらく不整楕円形	残存75	86	37	なだらか	59住ビット4つと切り合っている	
M'-24	ロ土坑		不定形	残存64	残存33	25	なだらか	59住ビットと切り合う	
	イ土坑	五領ヶ台	円形	97	84	26	急傾斜	東側の上部が攪乱を受けている	
ロ土坑	楕円形		114	102	27	急傾斜	東側の上部が攪乱を受けている		
M'-25	ハ土坑	五領ヶ台	楕円形	92	残存42	23	急傾斜	南側半分が調査区外へ出ている	
	イ土坑	五領ヶ台	円形	102	100	44	急傾斜	M'-26ト、チ土坑と切り合う。覆土は、暗褐色土を基調とし、中層で明るくなる。径5~10mmローム粒少量、カーボン若干含む	
M'-26	ロ土坑		楕円形	85	73	28	急傾斜		
	ハ土坑		楕円形	70	56	19	急傾斜		
	ホ土坑		ほぼ円形	72	66	25	急傾斜		
	ヘ土坑		ほぼ円形	76	72	35	傾斜		
	ト土坑	おそらく楕円形	86	残存66	30	急傾斜	M'-26イ土坑と切り合う		
	チ土坑	おそらく楕円形	残存80	93	23	急傾斜	M'-26イ、リ土坑と切り合う		
	リ土坑	不整楕円形	118	84	40	傾斜	M'-26ヌ、L'-26ロ(ハ)土坑と切り合う		
	ヌ土坑	おそらく楕円形	残存43	86	36	なだらか	L'-26ロ(ハ)土坑、M'-26リ土坑と切り合う		
	ル土坑	ほぼ円形	53	46	13	皿状			
	ヲ土坑	おそらく楕円形	残存62	62	17	傾斜	M'-26ワ土坑と切り合う		
	ワ土坑	楕円形	61	55	17	傾斜	M'-26ヲ土坑と切り合う		
	カ土坑	円形	59	58	32	なだらか			
	コ土坑	楕円形	78	57	23	傾斜	小ビットと切り合う		
	タ土坑	おそらく楕円形	残存88	82	25	傾斜	41住東壁と重複する		
	M'-27	レ土坑		円形	37	35	30	傾斜	41住のビット(NOナシ)、その他のビットとも切り合う
		ソ土坑	おそらく円形	70	残存53	30	傾斜	41住北東壁コーナー付近に位置し、切り合う	
		イ土坑	円形	残存75	84	36	急傾斜	41住北東壁コーナー付近に位置し、切り合う	
ロ土坑		不整楕円形	157	推定115	26	なだらか	M'-27ロ土坑と重なる		
ハ土坑		おそらく円形	残存82	残存109	22	急傾斜	M'-27イ土坑、M'-27ハ土坑、M'-27ニ土坑と重なる		
ニ土坑		円形	103	推定96	24	急傾斜	M'-27ロ土坑、M'-27ニ土坑と重複		
ホ土坑		不整円形	70	57	19	急傾斜	M'-27ロ土坑、M'-27ハ土坑、M'-27ト土坑と重複		
ヘ土坑		円形	75	残存53	9	皿状	M'-27ト土坑、M'-27ヘ土坑と重複		
ト土坑		楕円形	推定97	推定66	11	皿状	M'-27ホ土坑、M'-27ト土坑と重複		
チ土坑									
リ土坑		円形	71	65	34	急傾斜	M'-28ニ土坑と重なる		
M'-28	ヌ土坑	楕円形	残存100	残存90	19	なだらか	半分調査区外へ出ている		
	ル土坑	円形	40	35	36	急傾斜			
	イ土坑	五領ヶ台	楕円形	94	残存35	29	急傾斜	半分調査区外へ出ている	
	ロ土坑	楕円形	残存51	70	45	急傾斜	土坑1つと重複・半分調査区外へ出ている		
	ハ土坑	円形	72	71	16	なだらか			
	ニ土坑	楕円形	残存64	64	13	皿状	M'-28ホ土坑、M'-27リ土坑と重なる		
	ホ土坑	円形	58	54	15	なだらか	M'-28ニ土坑と重なる		
	ヘ土坑	楕円形	残存42	31	30	急傾斜	一部調査区外へ出ている		

グリッド名	土坑名	時 期	形 態	長 径	短 径	深 さ	立ち上がり	所 見
M'-28	ト土坑		楕円形	69	残存35	51	急傾斜	土坑1つと重複・半分調査区外へ出ている M'-28ヌ土坑と重複 M'-28リ土坑と重複
	チ土坑		不整楕円形	96	68	12	なだらか	
	リ土坑		楕円形	43	49	11	なだらか	
	ヌ土坑		円形	78	75	24	急傾斜	
	ル土坑		楕円形	82	73	29	傾斜	
	ヲ土坑		楕円形	92	76	10	皿状	
	ワ土坑		円形	36	32	25	急傾斜	
M'-29	カ土坑		楕円形	38	29	13	皿状	M'-29口、ヘ土坑と切り合う M'-29イ、NOナシ土坑と切り合う・K'-32ハ土坑とも切り合う、土器小破片2点 45住南西壁、NOナシピットと切り合う NOナシ土坑、45住西壁と切り合う
	イ土坑	藤内	おそらく楕円形	残存109	残存80	30	傾斜	
	ロ土坑	不明	楕円形	87	65	43	傾斜	
M'-30	ハ土坑	五領ヶ台	円形	121	113	44	急傾斜	M'-29イ土坑、NOナシピットと切り合う、無文土器3点 NOナシ土坑と切り合う M'-31ロ土坑、M'-31ホ土坑、他土坑1つと重なる、破片+石斧2本 M'-31イ土坑、M'-31ホ土坑、他ピット2つと重なる
	ニ土坑	五領ヶ台	ほぼ円形	46	1	19	傾斜	
	ホ土坑	不明	楕円形	101	86	43	急傾斜	
M'-31	ヘ土坑		おそらく円形	61	残存55	28	なだらか	M'-29イ土坑、NOナシピットと切り合う、無文土器3点 NOナシ土坑と切り合う M'-31ロ土坑、M'-31ホ土坑、他土坑1つと重なる、破片+石斧2本 M'-31イ土坑、M'-31ホ土坑、他ピット2つと重なる
	イ土坑		楕円形	90	72	25	傾斜	
M'-32	ロ土坑	五領ヶ台	円形	111	108	37	傾斜	43住床面に位置する M'-31イ土坑、M'-31ロ土坑、他ピット1つと重複 土坑1つと重なる NOナシピットと、M'-32ヘ土坑などと切り合う L'-332イ土坑、NOナシピットと切り合う M'-32ホ土坑、M'-32ト土坑、他土坑1つと重複 M'-32ニ土坑、M'-32ト土坑、他土坑1つ、ピット1つと重複 M'-32ロ、NOナシ土坑、NOナシピットと切り合う M'-32ニ土坑、M'-32ホ土坑、他土坑1つと重複 土坑1つと重複 ピット1つと接する M'-32カ土坑と接する 土坑2つと重複 土坑3つ、ピット1つと重なる M'-32ヨ土坑、他ピット2つと重なる M'-32ヌ土坑、他ピット1つと重複 M'-32ワ土坑、M'-32ホピット、他ピット2つと重なる NOナシピットと切り合う
	イ土坑		楕円形	104	94			
	ロ土坑		楕円形	92	76			
	ハ土坑		楕円形	67	54	78	傾斜	
	ニ土坑		円形	96	96	20	急傾斜	
	ホ土坑		不整楕円形	残存57	65			
	イ土坑		不整楕円形	107	49			
	ロ土坑		不整楕円形	残存125	残存95	18	傾斜	
	ハ土坑	井戸尻	楕円形	87	61	15	急傾斜	
	ニ土坑		不整楕円形	90	83			
	ホ土坑		楕円形	残存117	残存68			
	ヘ土坑		不整楕円形	残存75	68	13	皿状	
	ト土坑		不整円形	53	50			
	チ土坑		円形	50	47			
	リ土坑		楕円形	75	55			
	ヌ土坑		円形	94	87			
	ル土坑		円形	54	50			
	ヲ土坑		不整円形	105	97			
	ワ土坑		楕円形	76	60			
	カ土坑		不整楕円形	80	76			
ヨ土坑		不整楕円形	残存117	57				
タ土坑		楕円形	81	66	30	傾斜		
イピット		楕円形	40	34	33	急傾斜		
ロピット		ほぼ円形	48	44	24	急傾斜		
ハピット		円形	35	35				
ニピット		楕円形	59	39				
ホピット		円形	46	43				
M'-33	ヘピット		おそらく楕円形	残存40	残存33	25	傾斜	M'-32ヨ土坑、他土坑1つと接する M'-32ヨ土坑、他土坑1つと重複 NOナシ土坑と切り合い、一部調査区外へと続く M'-33ロ土坑と切り合い、その中に位置する M'-33イ、ホ土坑と切り合う M'-33タ、NOナシ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合う M'-33ロ、NOナシ土坑と切り合う M'-33ト土坑、イピットと切り合う M'-33ヘ土坑と切り合う M'-33リ、ヌ、ワ土坑と重複し、NOナシピットとも切り合う M'-33チ、ヌ土坑と重複し、NOナシピットと切り合う M'-33チ、リ、ル、ワ土坑と切り合う M'-33ヌ、ヲ土坑と切り合う M'-33ル、NOナシ土坑と切り合う M'-33ヌ、NOナシ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合い、その中に位置する NOナシピット、土坑と切り合う M'-33ハ、レ土坑、NOナシピットと切り合う M'-33タ土坑、NOナシピットと切り合う L'-32イ土坑と切り合う NOナシピット2基と切り合う M'-33ヘ土坑、NOナシピットと切り合う NOナシピット、40住P-2と切り合う NOナシピットと切り合う NOナシピットと切り合う M'-32トピット、NOナシ土坑と切り合う M'-32ヘピットと切り合う
	イ土坑		楕円形	97	86	75	急傾斜	
	ロ土坑		不整楕円形	残存152	111	24	急傾斜	
	ハ土坑		不整円形	90	83	46	急傾斜	
	ニ土坑		不整楕円形	103	91	29	急傾斜	
	ホ土坑		おそらく楕円形	残存102	93	14	傾斜	
	ヘ土坑		おそらく楕円形	106	残存92	22	急傾斜	
	ト土坑		おそらく楕円形	100	残存53	21	傾斜	
	チ土坑		おそらく楕円形	残存88	残存78	11	急傾斜	
	リ土坑		不整円形	83	75	26	急傾斜	
	ヌ土坑		おそらく円形	残存70	残存47	11	急傾斜	
	ル土坑		不整円形	79	75	20	急傾斜	
	ヲ土坑		おそらく楕円形	残存50	62	6	皿状	
	ワ土坑		おそらく楕円形	残存64	残存31	32	傾斜	
	カ土坑		不整円形	43	40	38	傾斜	
	ヨ土坑		おそらく円形	残存103	残存83	14	急傾斜	
	タ土坑		おそらく楕円形	残存108	88	10	皿状	
	レ土坑		円形	118	116	19	急傾斜	
	ソ土坑		おそらく楕円形	残存85	74	19	傾斜	
	ツ土坑		不整楕円形	80	53	23	傾斜	
イピット		おそらく楕円形	残存25	38	10	皿状		
ロピット		不整円形	48	42	38	急傾斜		
ハピット		おそらく楕円形	残存47	75	12	皿状		
ニピット		楕円形	45	36	31	急傾斜		
ホピット		楕円形	44	39	28	傾斜		
ヘピット		円形	40	37	26	急傾斜		
トピット		円形	49	49	22	急傾斜		
チピット		円形	32	32	21	急傾斜		
M'-34	イ土坑		不整円形	100	91	23	傾斜	NOナシ土坑と切り合う NOナシピット、土坑と切り合う 東側の一部がM'-34イ焼土に切られる。覆土は、暗褐色土を基調とし、下層で明るくなる。径1cmのロームブロック少量含み、カーボン若干含む N'-27イ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合う NOナシ土坑、N'-26イ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合い、調査区外へ続く
	ロ土坑		楕円形	101	90	8	急傾斜	
	ハ土坑		楕円形	132	92	27	西側は直、その他は皿状	
N'-26	イ土坑		おそらく楕円形	81	残存65	16	傾斜	NOナシ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合う NOナシ土坑、N'-26イ土坑と切り合う NOナシ土坑と切り合い、調査区外へ続く
ロ土坑		楕円形	126	残存33	24	傾斜		
イ土坑		おそらく楕円形	100	残存58	24	なだらか		
N'-27	ロ土坑		おそらく楕円形	110	残存88	約34	急傾斜	



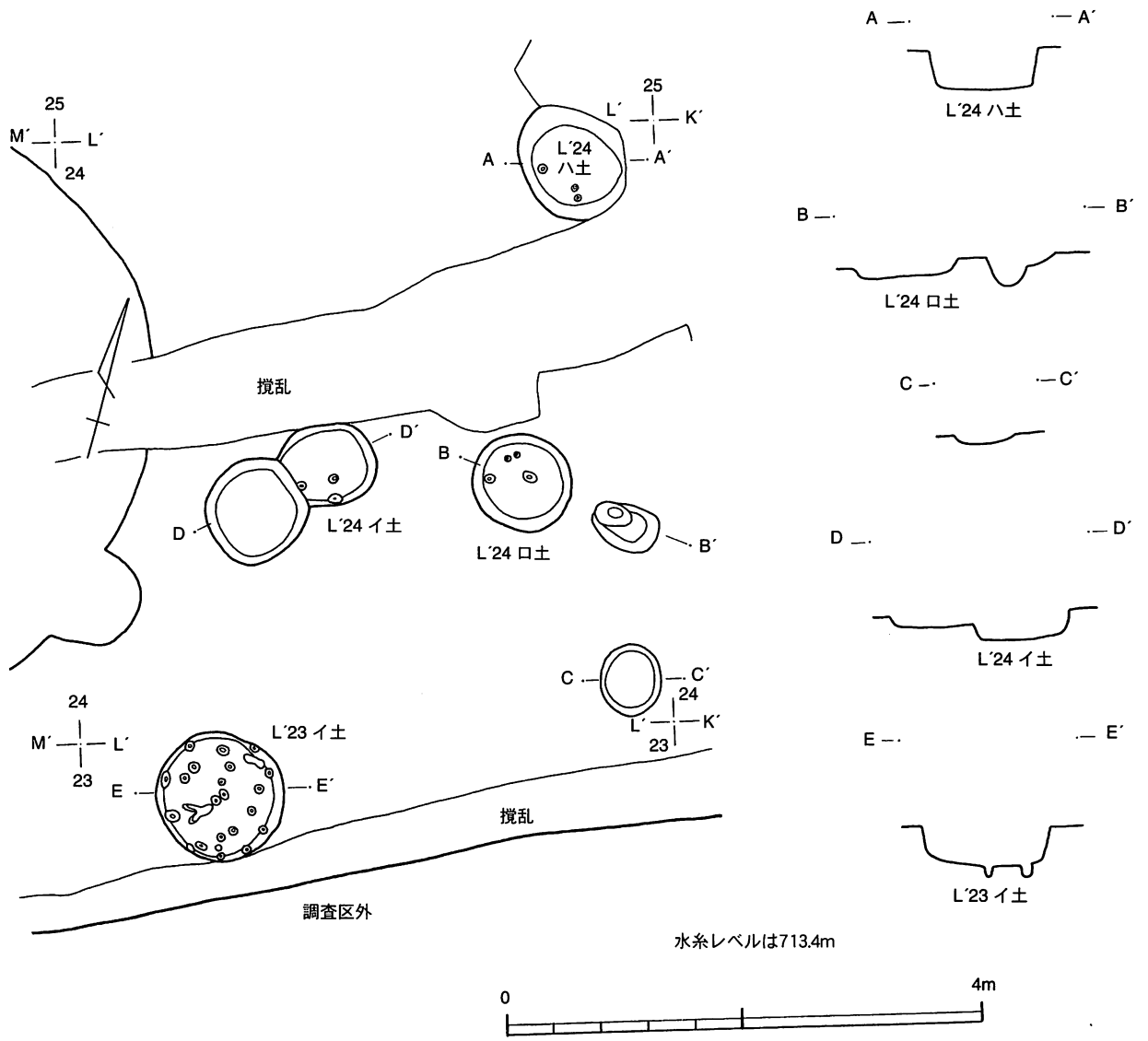
第15図 土坑分布区割り図および炉址分布図（網点より東側地域は前編掲載部分）



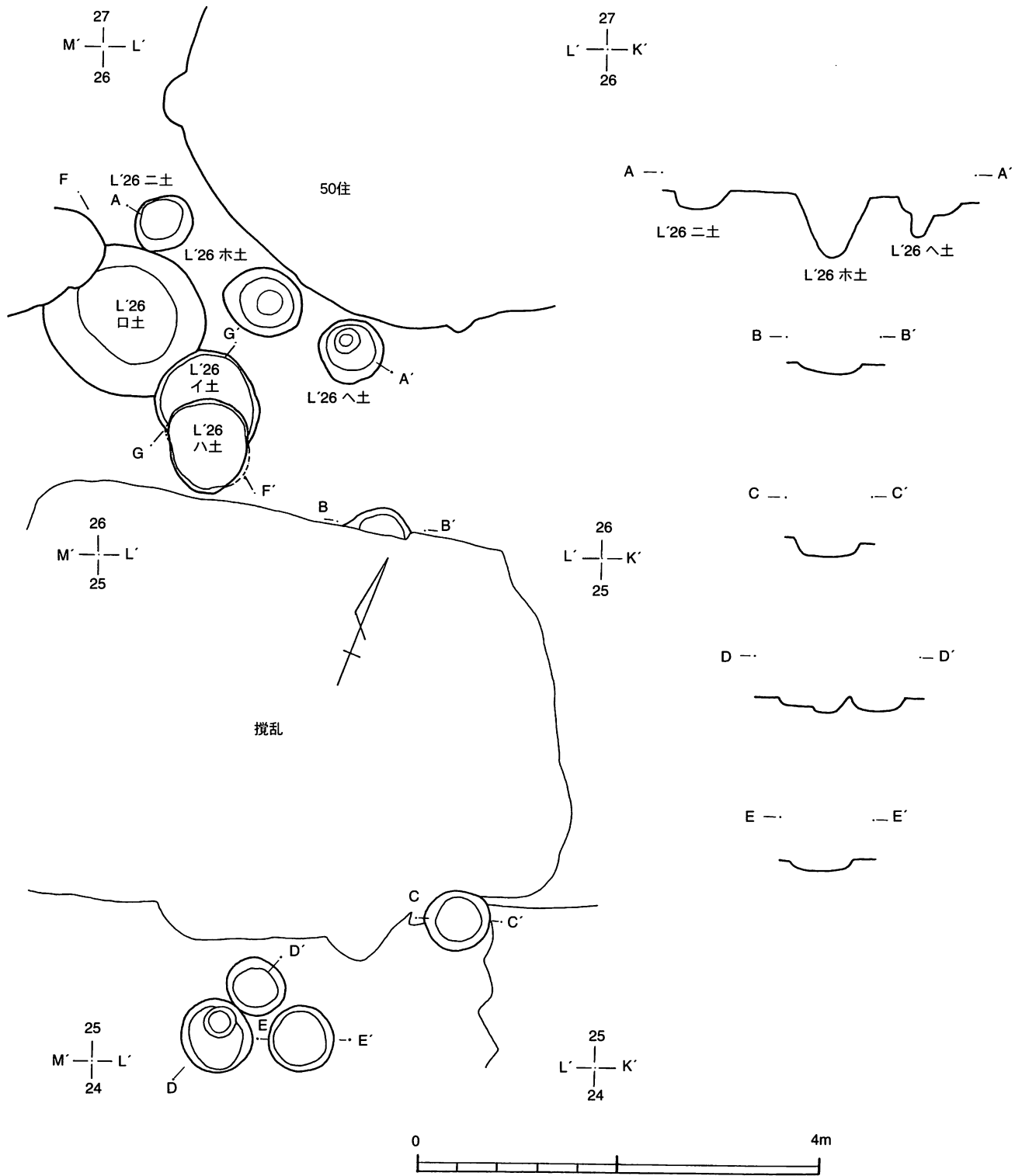
K' 24 炉址

1層. 暗褐色土。直径1mm程度のロームブロック少量、木炭片少量、焼土粒少量を含む。2層. 暗褐色土。直径1~5mm程度のロームブロック多量、木炭片やや多量、焼土粒少量を含む。3層. 明暗褐色土。直径1mm程度のロームブロックやや多量、木炭片少量、焼土粒多量を含む。

第16図 土坑 (1/60) (1/30) (k'24・25区内)

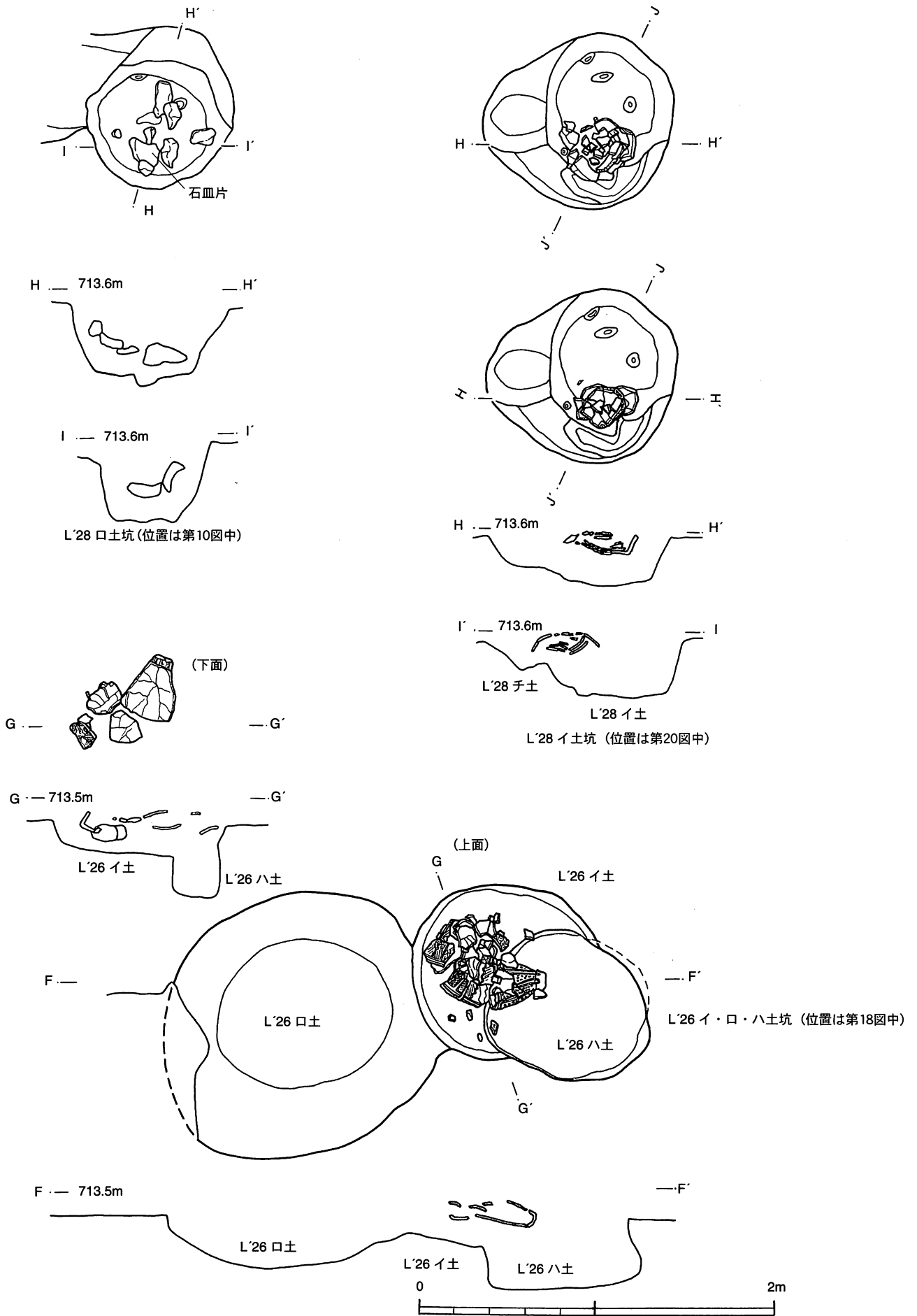


第17図 土坑 (1/60) (L'24区内)

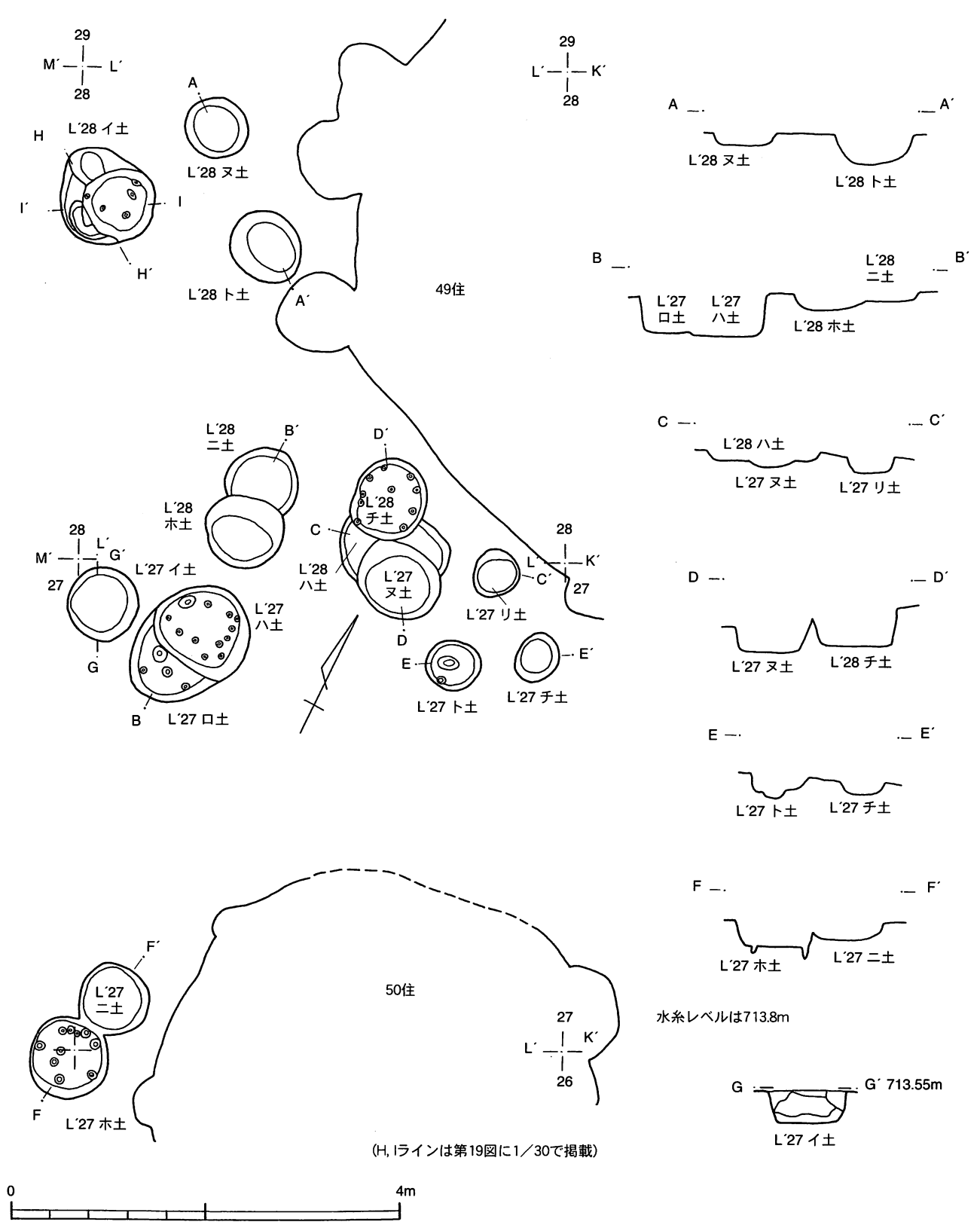


水系レベルは713.5m
 (F,Gラインは第19図に1/30で掲載)

第18図 土坑 (1/60) (L'25・26区内)

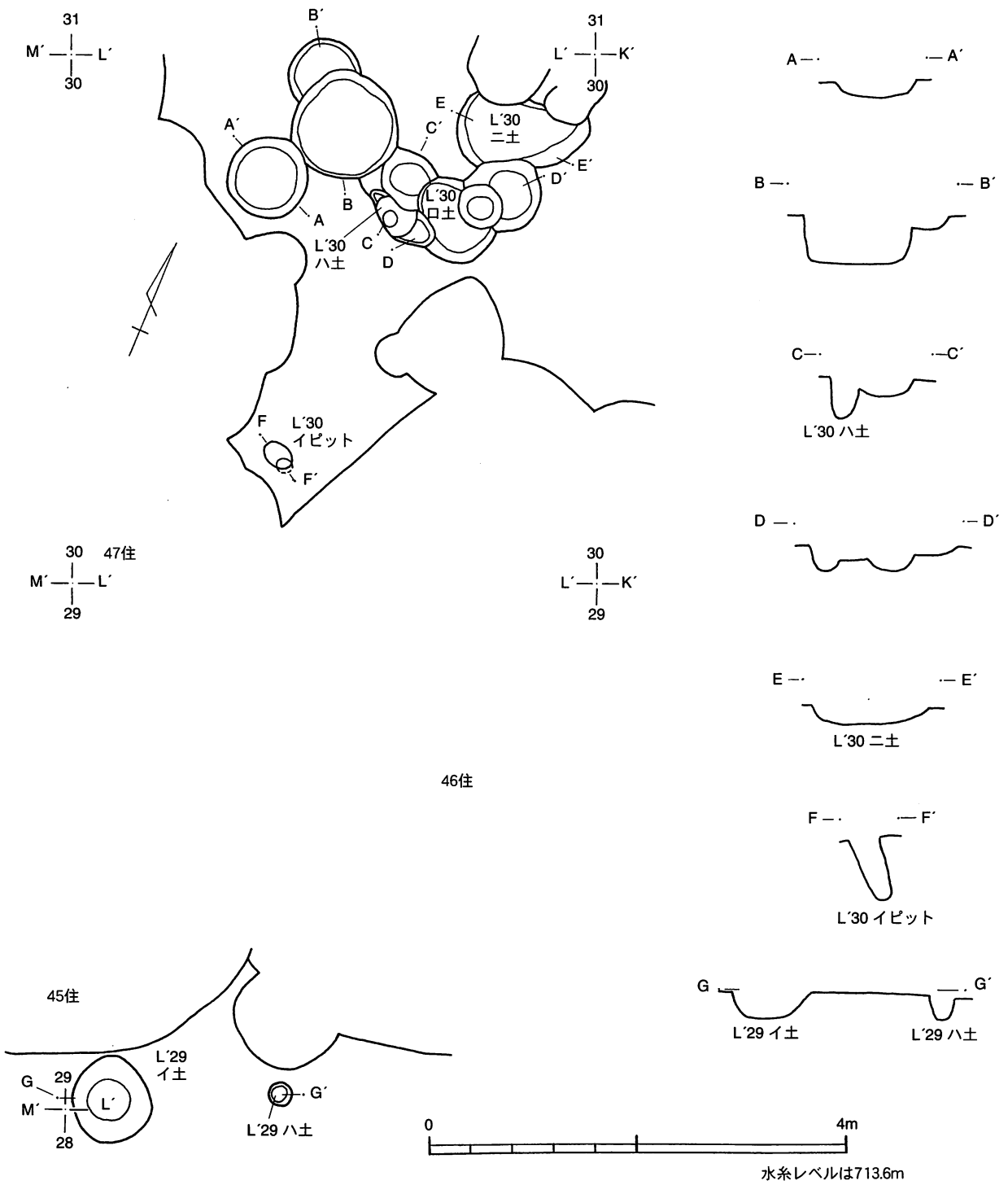


第19図 土坑 (1/30) (L'26・28区内)

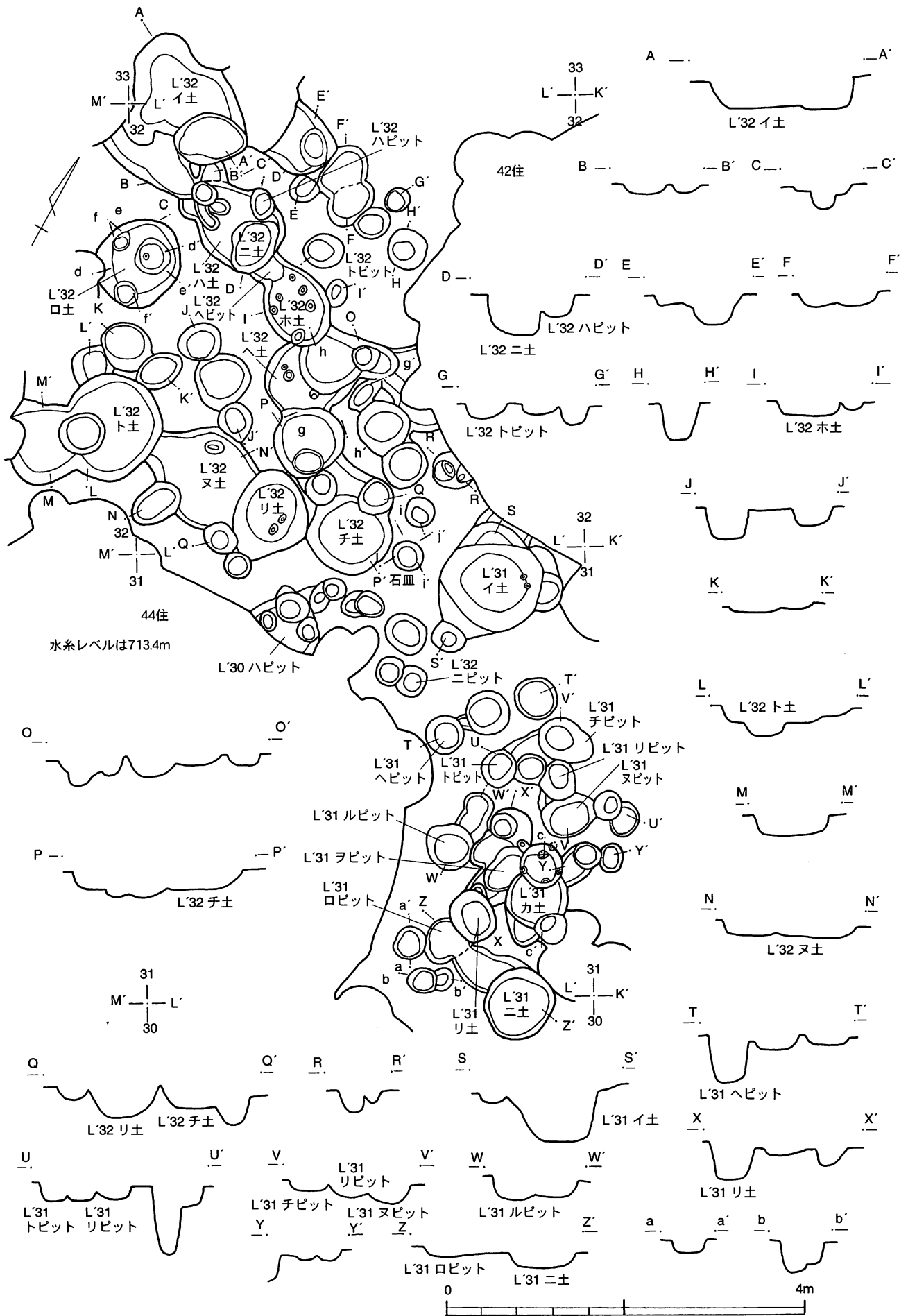


L' 27 イ土坑
 1層. 暗褐色土。暗褐色部分がマダラ状に入る。2層. 黒褐色土。混ざりものなし。
 3層. 暗黒褐色土。ローム小粒子、木炭片多量を含む。4層. 明黒褐色土。ロームブロック、木炭片ともほとんどなし。

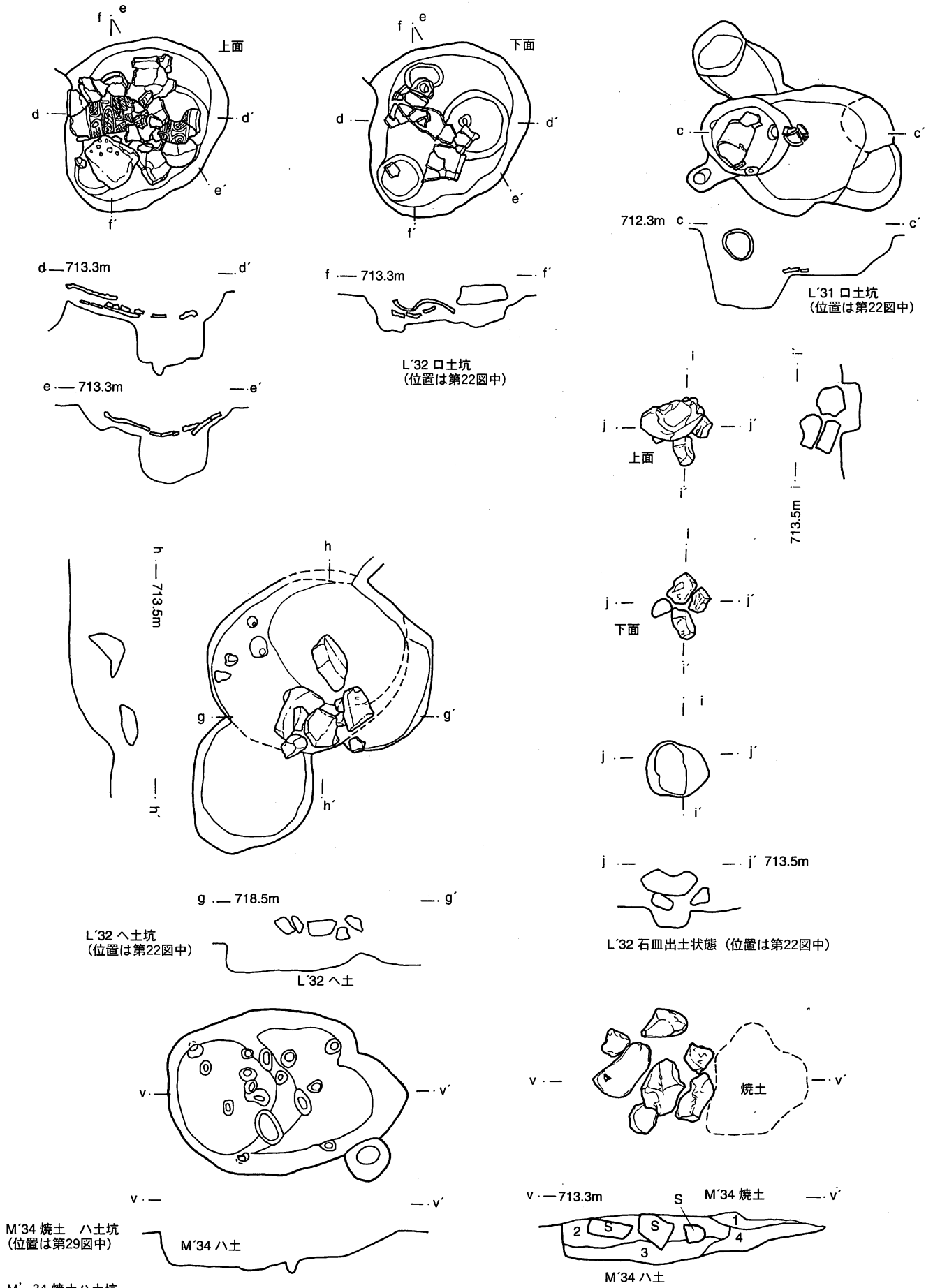
第20図 土坑 (1/60) (L'27・28区内)



第21図 土坑 (1/60) (L'29・30区内)

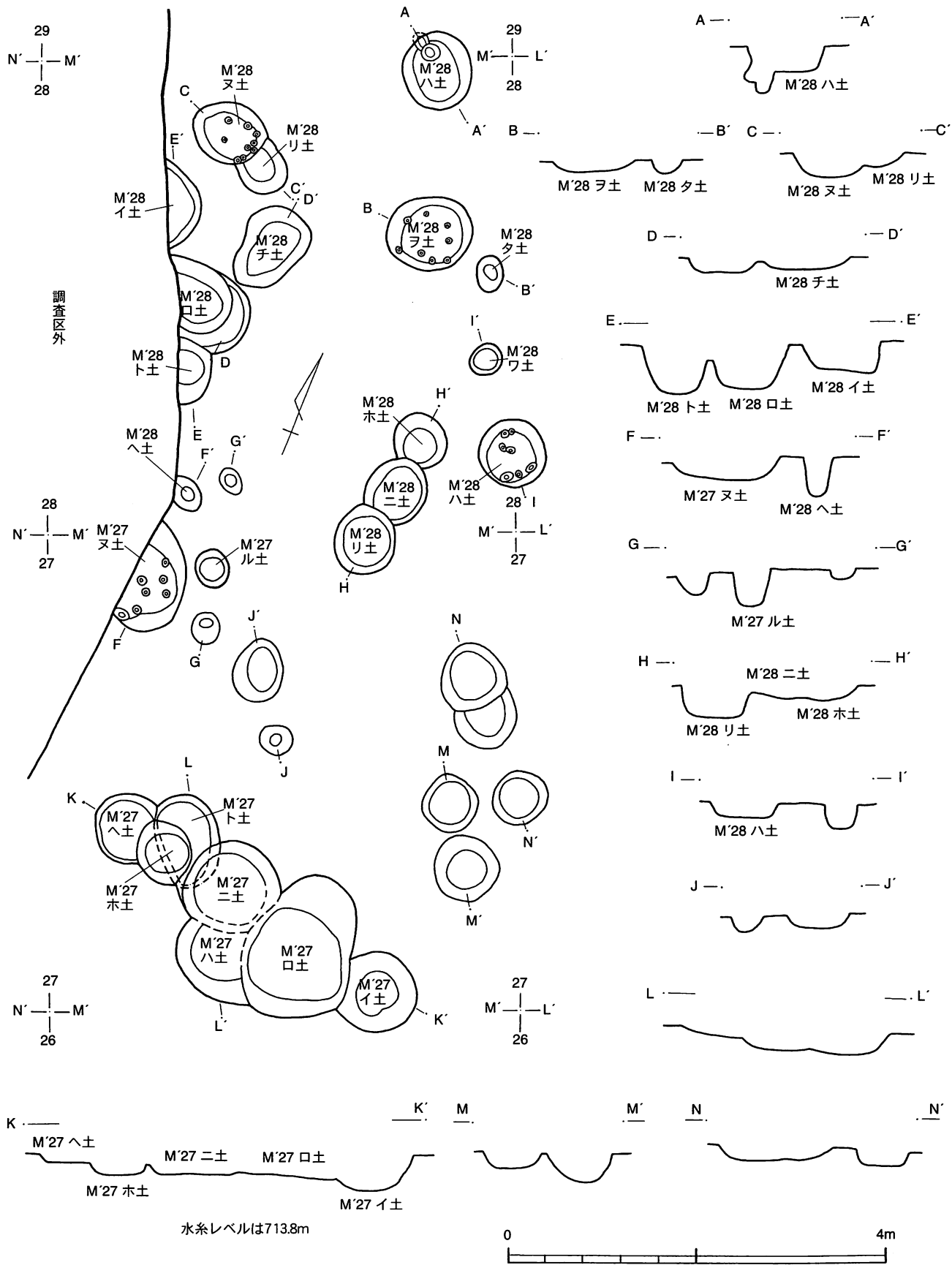


第22図 土坑 (1/60) (L'31・32区内)

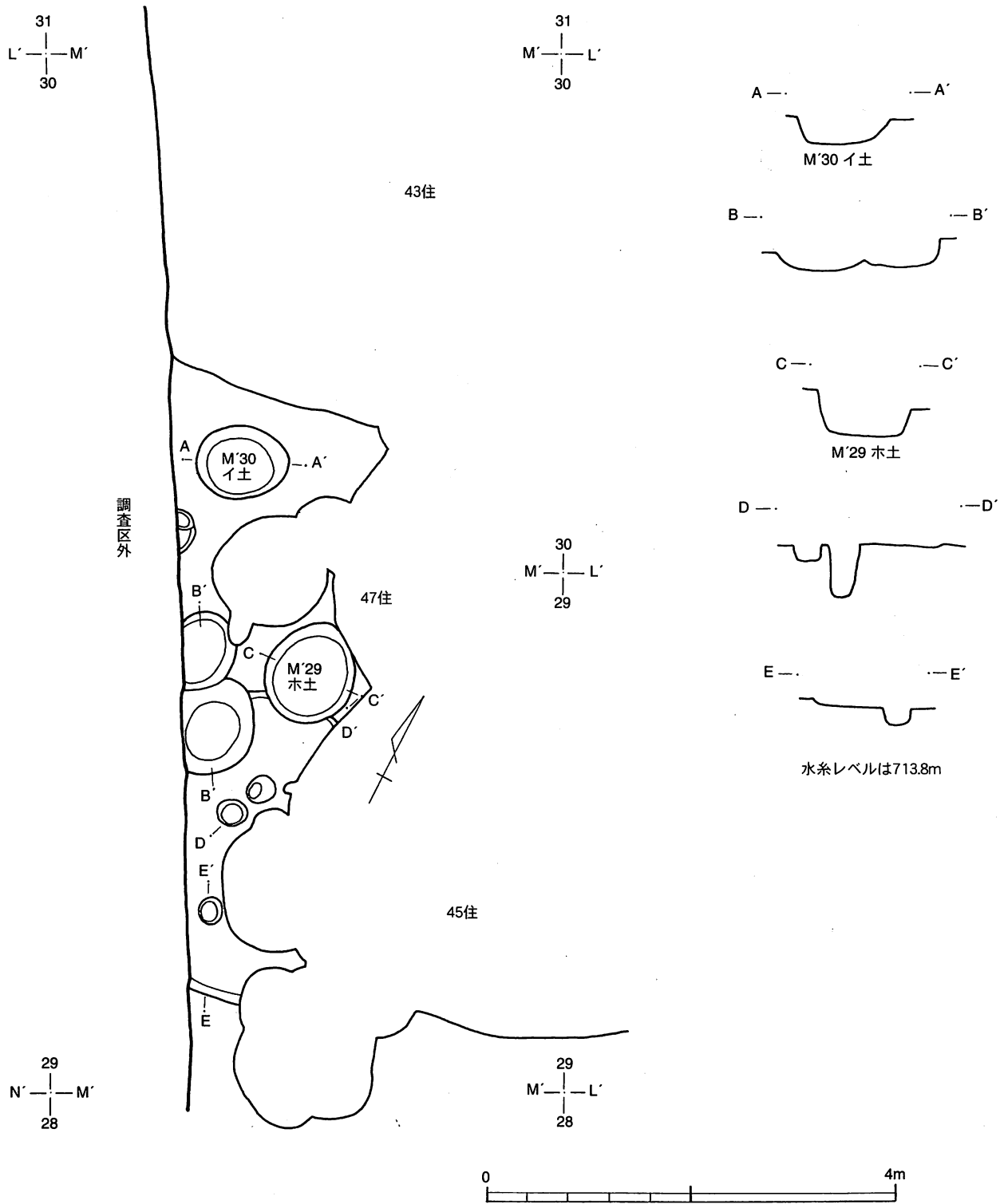


M' 34 焼土ハ土坑
 1層. 赤褐色土. 焼土. 暗褐色土混じり. 2層. 暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロック少量. 木炭片若干を含む. 3層. 明暗褐色土. 直径1cm程度のロームブロックを若干含む. 4層. 黄褐色土. 極めてしまりあり. 地山.

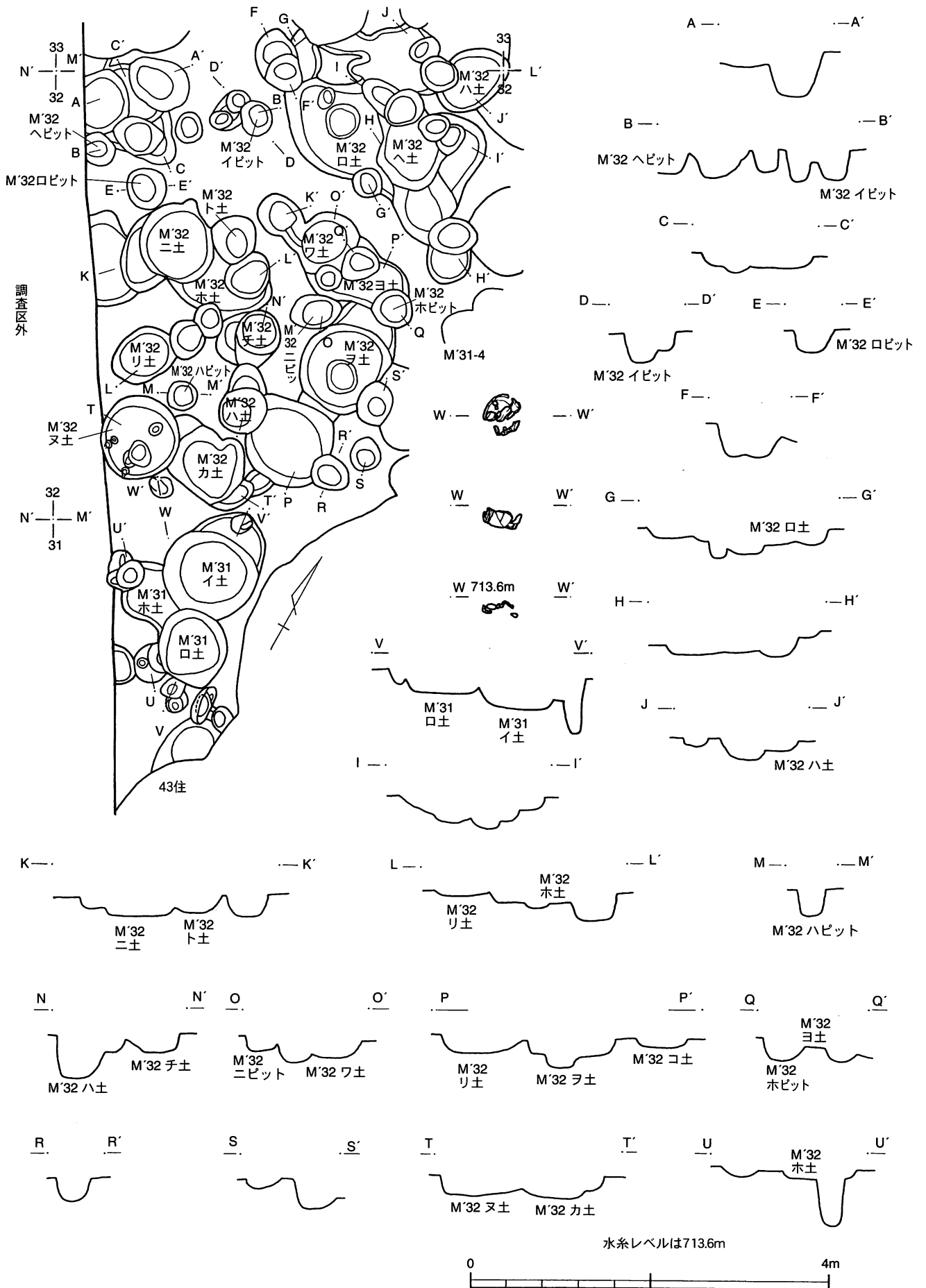
第23図 土坑 (1/30) (L'31・32, M'34区内)



第26図 土坑 (1/60) (M'27・28区内)



第27図 土坑 (1/60) (M'29・30区内)



第28図 土坑 (1/60) (M'31・32区内)

第3節 炉址

K'-24炉址

(位置) K'-24グリッドに位置している。

(時期) 不明

(形態) 石囲炉

(規模) 規模は長径112cm、短径推定66cm、深さ20cmを測る。

(所見) 東側を一部攪乱を受けている。約50cm大の長細い礫が、炉の中央から南寄りの所に、炉の長軸方向に斜交するように置かれている。

M'-34 焼土

(位置) M'-34グリッドに位置している。

(時期) 不明

(形態) 形態は不整楕円形を呈する

(規模) 規模は長径65cm、短径54cm、焼土の厚さ9cmを測る。

(所見) M'-34ハ土坑の東側の一部に乗っている。掘り込みなし。

報告書抄録

ふりがな	さけのみばいせき (だいさんじ)
書名	酒呑場遺跡 (第3次)
副題	酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書 (遺構編-後編)
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター第169集
編著者名	保坂康夫・村松佳幸・五味孝広
発行者	山梨県教育委員会
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター
所在地・電話	〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 055-266-3016
印刷所	(株) 峡南堂印刷所
発行日	1998年3月25日
所在地	山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条621-2他
	25,000分の1地形図 長坂上条
	位置 東経138°22'16" 北緯35°48'58" 標高712m
	市町村コード 19405
調査原因	酪農試験場増・改築
調査期間	1996年4月15日～11月13日
調査面積	3000㎡
縄文時代	
主な遺構	竪穴住居跡59軒、土坑1700基、配石9基、炉址13基、屋外埋甕2基
主な遺物	土器・石器コンテナ700箱
	(土偶、ミニチュア土器、器台形土器匙形土器、琥珀玉、装飾品などを含む)
古墳時代	
主な遺構	掘立柱建物址1棟、小ピット1基
中・近世	
主な遺構	溝状遺構1条
特記事項	掘削工具痕が良好に残存し、掘削方向なども推定可能。

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第169集

酒呑場遺跡 (第3次)

酪農試験場増・改築工事に伴う発掘調査報告書 (遺構編-後編)

印刷 1998年3月10日

発行 1998年3月25日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

発行 山梨県教育委員会

印刷 (株) 峡南堂印刷所

